

IV 市長選挙での投票行動

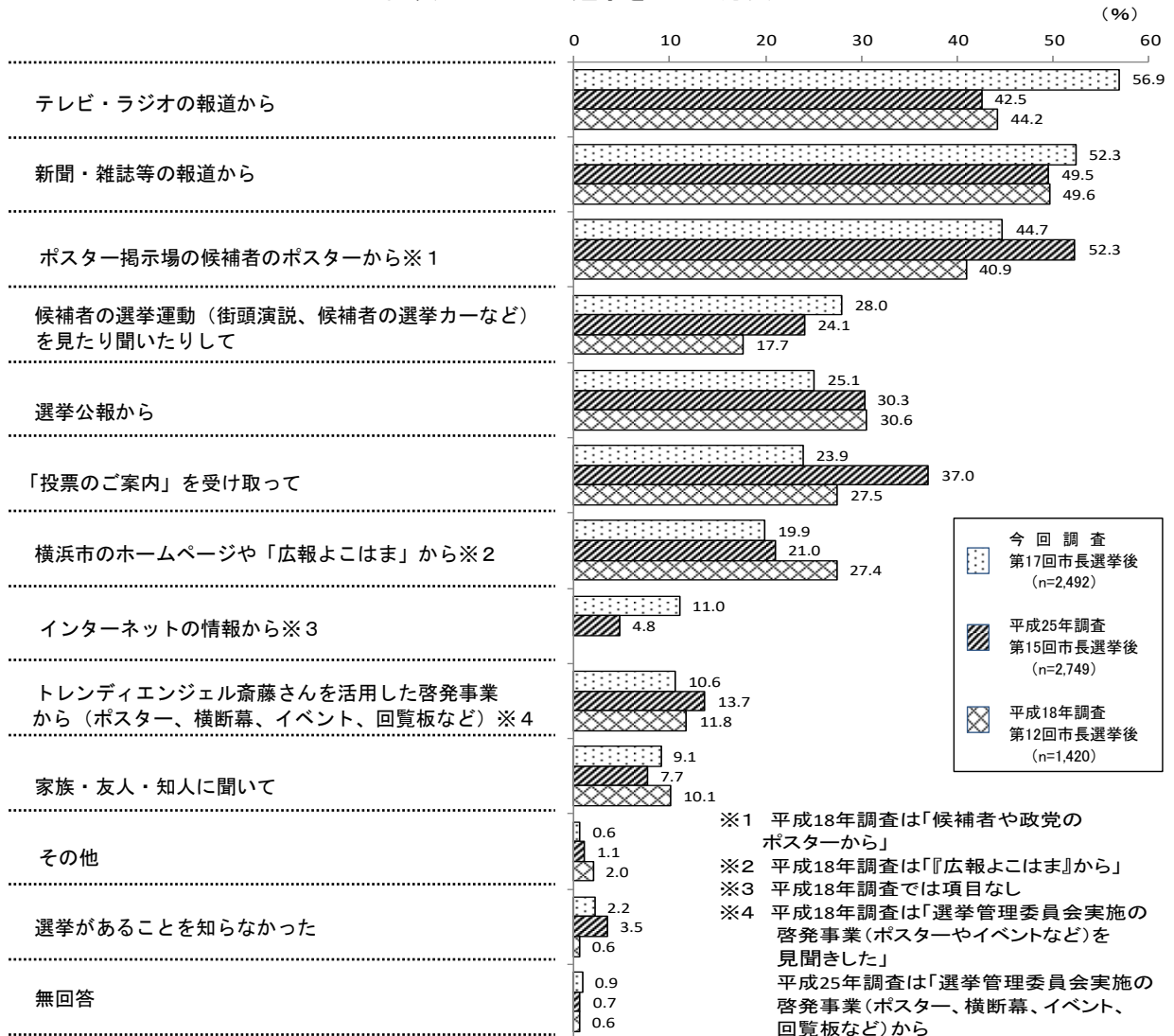
1 選挙を知った方法

(1) 選挙を知った方法

◇「テレビ・ラジオの報道から」が 56.9%

問8 あなたは、今回の選挙が行われることを何で知りましたか。(〇はいくつでも)

図表Ⅳ-1-1 選挙を知った方法



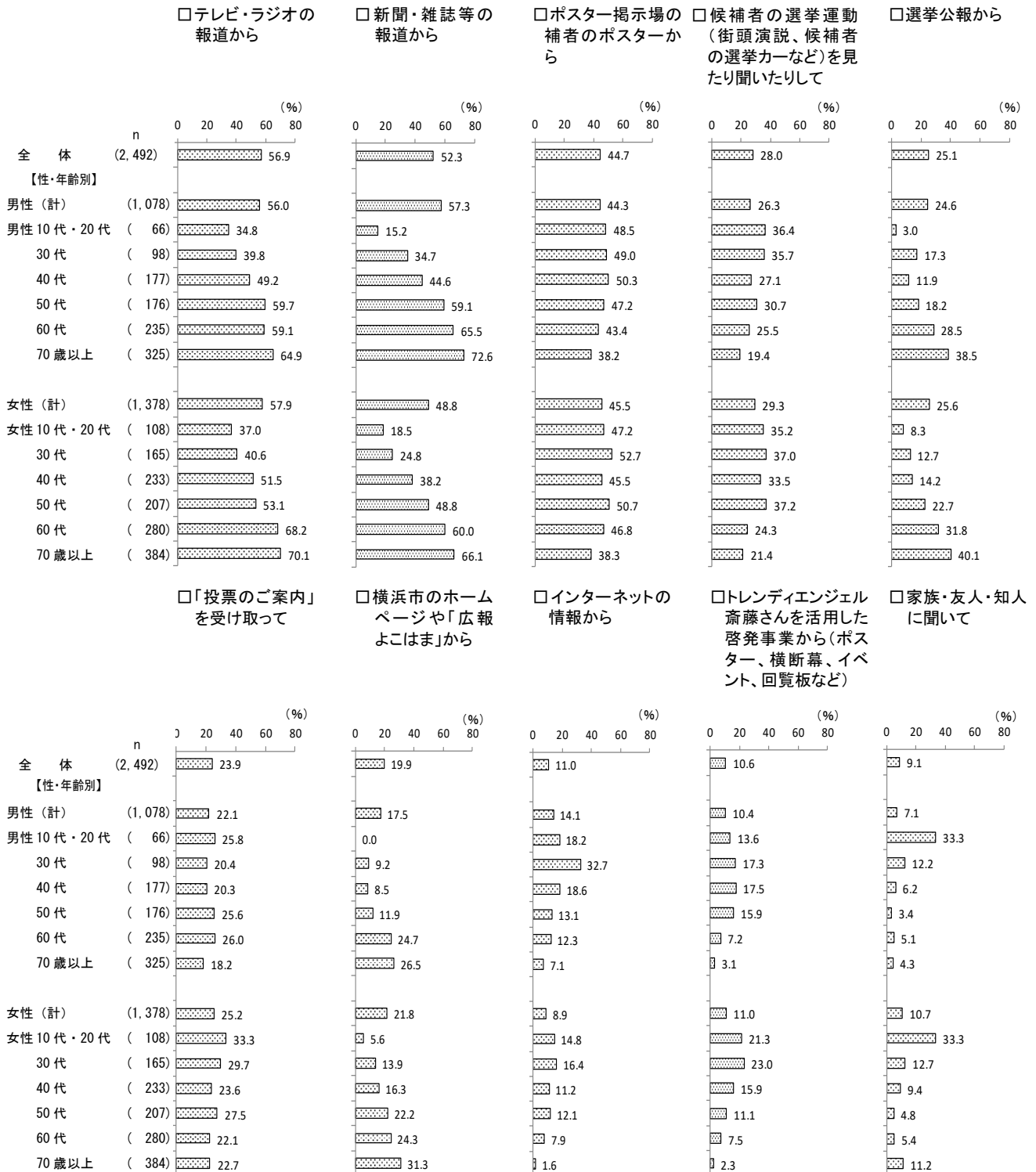
今回の選挙が行われることを何で知ったか聞いたところ、「テレビ・ラジオの報道から」が 56.9%で最も多く、次いで「新聞・雑誌などの報道から」（52.3%）、「ポスター掲示場の候補者のポスターから」（44.7%）、「候補者の選挙運動（街頭演説、候補者の選挙カーなど）を見たり聞いたりして」（28.0%）、「選挙公報から」（25.1%）の順となっている。

平成25年調査（第15回 市長選挙後）及び平成18年調査（第12回 市長選挙後）と比較すると、「テレビ・ラジオの報道から」は、平成25年調査（42.5%）よりも14.4ポイント増加した。また、「選挙公報から」、「横浜市のホームページや『広報よこはま』から」は、減少する傾向にある。（図表Ⅳ-1-1）

性・年齢別にみると、男性は「新聞・雑誌等の報道から」が57.3%と最も多く、女性は「テレビ・ラジオの報道から」が57.9%と最も多くなっている。(図表4-1-2)

男性では40代まで、女性では30代までは「ポスター掲示場の候補者のポスターから」が最も多く、男性の50代以降、女性の40代以降は「テレビ・ラジオなどの報道から」、「新聞・雑誌などの報道から」が多くなる傾向が見られる。(図表4-1-2)

図表Ⅳ-1-2 選挙を知った方法(性・年齢別)

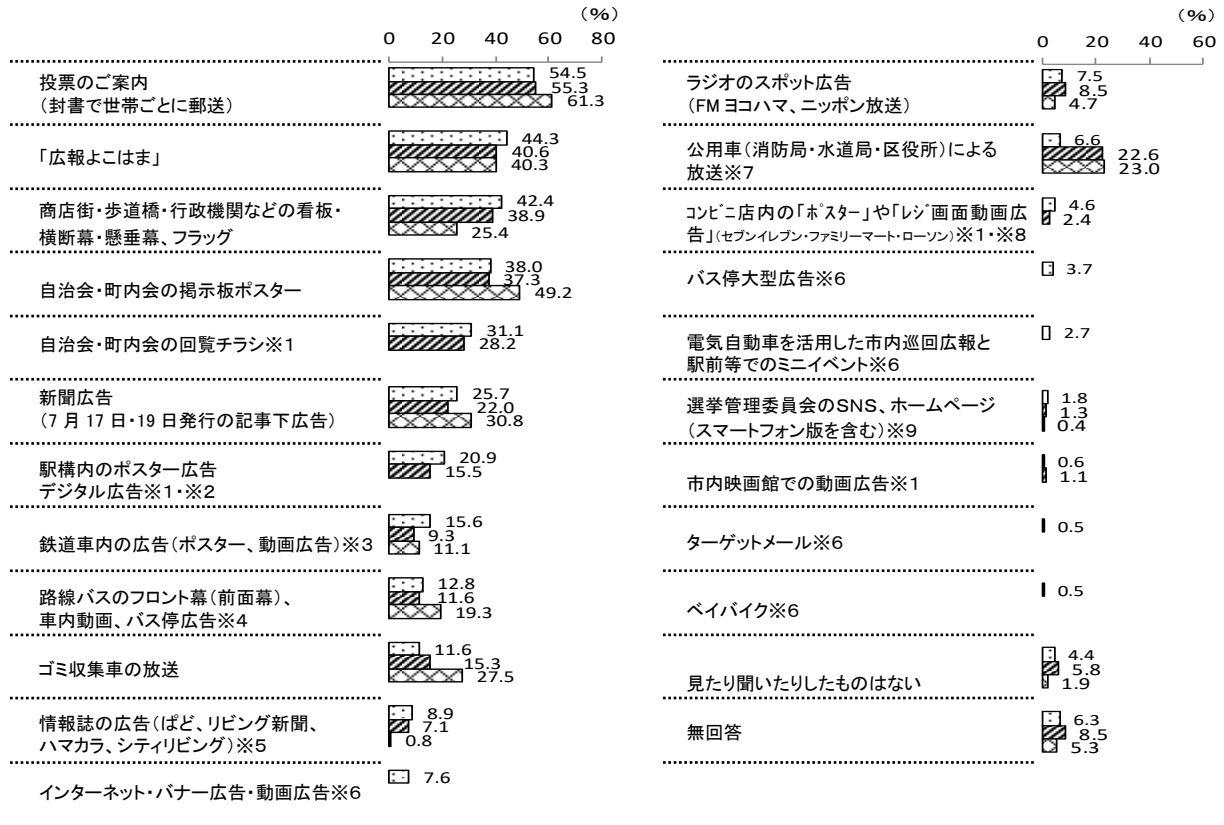


(2) 見聞きしたものの

◇ 「投票のご案内」が 54.5%、「『広報よこはま』」が 44.3%

問9 今回の横浜市長選挙において、横浜市選挙管理委員会では、いろいろな方法で投票参加を呼びかけました。その中で、あなたが見たり聞いたりしたものをすべてあげてください。(〇はいくつでも)

図表Ⅳ-1-3



- ※1 平成18年調査では項目なし
- ※2 平成25年調査では「駅構内のポスター広告」
- ※3 平成18年調査では「電車内のポスター」
- ※4 平成18年・25年調査では「路面バスのフロント幕(全面幕)」
- ※5 平成18年調査では「若者向け情報誌の記事広告」
- ※6 平成18年・25年調査では項目なし
- ※7 平成18年・25年調査では「広報車(選挙管理委員会)による放送」
- ※8 平成25年調査では「セブンイレブン(コンビニエンスストア)店内の「ポスター」や「うちわ」
- ※9 平成18年調査では「選挙管理委員会のホームページ」
平成25年調査では「選挙管理委員会のツイッター、ホームページ(スマートフォン版も含む)」

市長選挙の投票参加の呼びかけにおいて、見たり聞いたりしたものについて聞いたところ、「投票のご案内(封書で世帯ごとに郵送)」が 54.5%で最も多く、次いで「『広報よこはま』」(44.3%)、「商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ」(42.4%)、「自治会・町内会の掲示板ポスター」(38.0%)などの順となっている。(図表Ⅳ-1-3)

平成25年調査(第15回 市長選挙後)と比較すると、「投票のご案内」(54.5%)、「ゴミ収集車の放送」(11.6%)、「ラジオのスポット広告(FMヨコハマ、ニッポン放送)」(7.5%)、「公用車(消防局・水道局・区役所)による放送」(6.6%)を除き、全体的に増加する傾向にある。(図表Ⅳ-1-3)

性・年齢別にみると、男女ともに「投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）」が最も多く、20代～40代の比較的若い世代で「商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ」が、70歳以上で「『広報よこはま』」が多くなっている。（図表Ⅳ－１－４）

投票参加別にみると、「投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）」は投票した人（58.5%）の方が、投票しなかった人（46.4%）より12.1ポイント高くなっている。（図表Ⅳ－１－４）

図表Ⅳ－１－４ 見聞きしたもの（性・年齢別、投票参加別） (%)

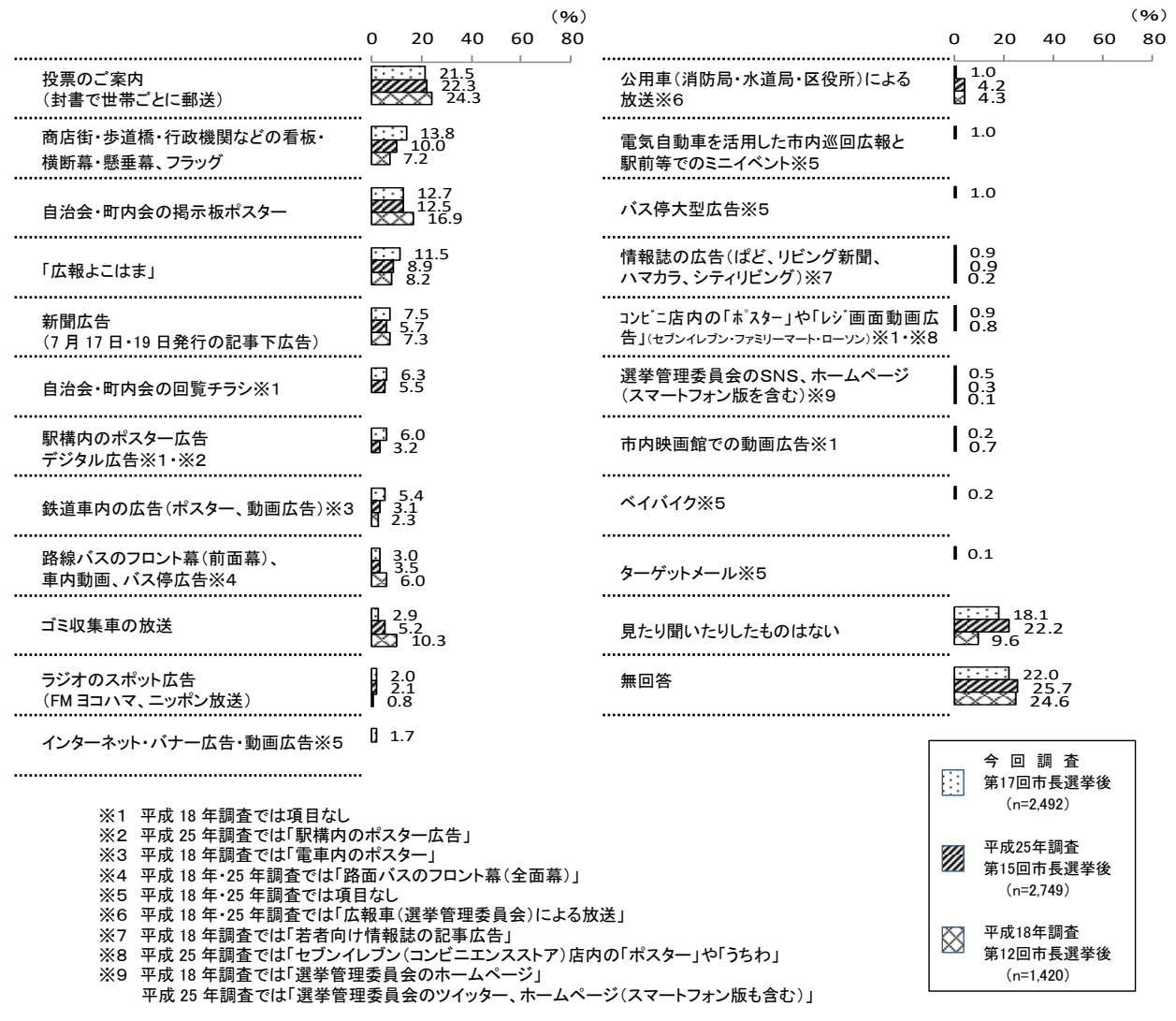
全 市	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
		投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	自治会・町内会の回覧チラシ	
	2,492	54.5	44.3	42.4	38.0	31.1	
性・年齢別	男 性	1,078	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	「広報よこはま」	自治会・町内会の掲示板ポスター	自治会・町内会の回覧チラシ
			51.3	44.3	39.6	35.1	29.6
	10代・20代	66	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	駅構内のポスター広告、デジタル広告	鉄道車内の広告（ポスター、動画広告）	自治会・町内会の掲示板ポスター
			51.5	42.4	39.4	25.8	24.2
	30代	98	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	駅構内のポスター広告、デジタル広告	鉄道車内の広告（ポスター、動画広告）
			48.0	46.9	33.7	33.7	31.6
	40代	177	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の掲示板ポスター	駅構内のポスター広告、デジタル広告	「広報よこはま」
			49.7	43.5	35.6	32.8	32.2
	50代	176	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	自治会・町内会の掲示板ポスター	「広報よこはま」
			52.3	49.4	32.4	31.3	30.7
60代	235	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	自治会・町内会の回覧チラシ	
		60.0	51.1	43.0	36.6	35.3	
70歳以上	325	「広報よこはま」	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の回覧チラシ	自治会・町内会の掲示板ポスター	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	
		52.9	51.4	40.3	38.5	37.2	
女 性	1,378	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	自治会・町内会の回覧チラシ	
		57.3	48.0	41.1	40.6	32.3	
10代・20代	108	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	駅構内のポスター広告、デジタル広告	自治会・町内会の掲示板ポスター	鉄道車内の広告（ポスター、動画広告）	
		54.6	48.1	39.8	36.1	29.6	
30代	165	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の掲示板ポスター	「広報よこはま」	駅構内のポスター広告、デジタル広告	
		53.3	50.3	36.4	29.1	26.1	
40代	233	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	「広報よこはま」	自治会・町内会の回覧チラシ	
		60.9	47.6	39.9	35.2	27.0	
50代	207	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	自治会・町内会の回覧チラシ	
		62.8	54.1	45.9	42.0	32.4	
60代	280	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	自治会・町内会の掲示板ポスター	自治会・町内会の回覧チラシ	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	
		63.2	61.4	45.7	39.6	37.9	
70歳以上	384	「広報よこはま」	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の回覧チラシ	自治会・町内会の掲示板ポスター	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	
		60.2	53.1	40.6	39.8	34.9	
投票参加別	投票した	1,728	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	自治会・町内会の回覧チラシ
			58.5	48.6	47.0	40.9	34.7
投票しなかった	745	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	自治会・町内会の回覧チラシ	
		46.4	35.0	32.5	31.8	23.6	

(3) 印象が強かったもの

◇「投票のご案内」が 21.5%、「商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ」が 13.8%

問9 今回の横浜市長選挙において、横浜市選挙管理委員会では、いろいろな方法で投票参加を呼びかけました。その中で、もっとも印象の強かったものを2つまで選んでください。(○は2つまで)

図表Ⅳ-1-5 印象が強かったもの



市長選挙の投票参加の呼びかけにおいて、見たり聞いたりしたものうち印象の強かったものについて聞いたところ、「投票のご案内 (封書で世帯ごとに郵送)」が 21.5% で最も多く、次いで、「商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ」(13.8%)、「自治会・町内会の掲示板ポスター」(12.7%)、「『広報よこはま』」(11.5%) などの順となっている。(図表Ⅳ-1-5)

平成25年調査 (第15回 市長選挙後) と比較すると、「商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ」(13.8%)、「『広報よこはま』」(11.5%)、「駅構内のポスター広告」(6.0%) は増加傾向が見られる一方、「ゴミ収集車の放送」(2.9%)、「公用車 (消防局・水道局・区役所) による放送」(1.0%) は、減少傾向にある。(図表Ⅳ-1-5)

性・年齢別にみると、男女ともに「投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）」が多く、男性30代以下は「商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ」、40代以上は「投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）」、女性30代は「商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ」、それ以外の年代は、「投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）」が最も多くなっている。
 「(図表IV-1-6)」

投票参加別にみると、「投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）」は投票した人（24.2%）の方が、投票しなかった人（15.7%）より8.5ポイント高くなっている。（図表IV-1-6）

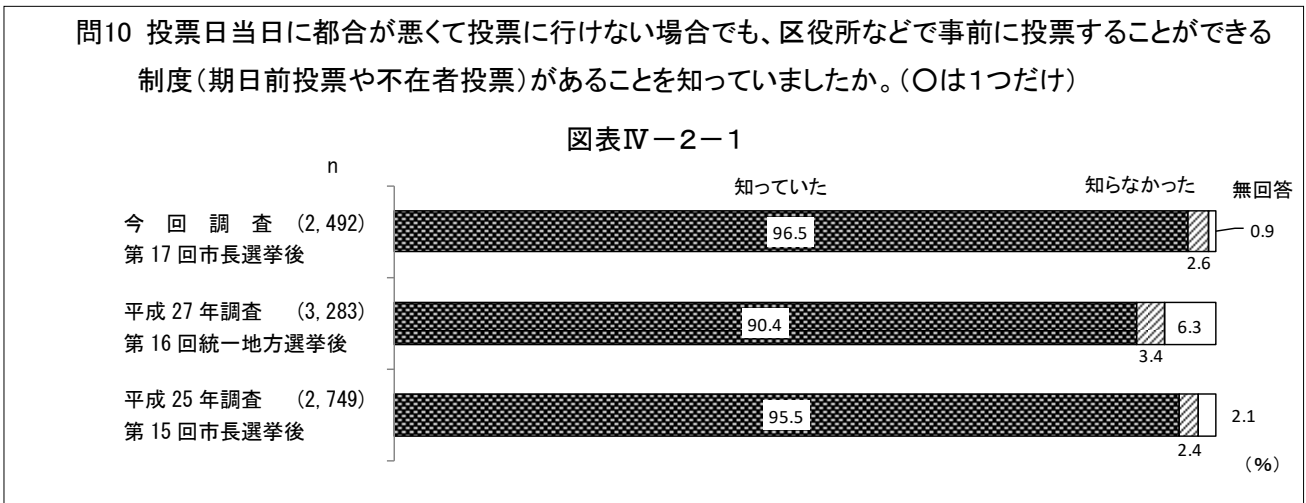
図表IV-1-6 印象が強かったもの(性・年齢別、投票参加別) (%)

全 市	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位						
		投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	「広報よこはま」	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	21.5	13.8	12.7	11.5	7.5	
性・年齢別	男 性	1,078	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	「広報よこはま」	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	20.9	13.8	12.4	10.6	8.0
	10代・20代	66	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	鉄道車内の広告（ポスター、動画広告）	自治会・町内会の掲示板ポスター	駅構内のポスター広告、デジタル広告	18.2	18.2	15.2	13.6	12.1
	30代	98	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の掲示板ポスター	鉄道車内の広告（ポスター、動画広告）	駅構内のポスター広告、デジタル広告	20.4	20.4	12.2	12.2	9.2
	40代	177	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の掲示板ポスター	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	駅構内のポスター広告、デジタル広告	鉄道車内の広告（ポスター、動画広告）	16.9	15.8	13.0	9.0	7.9
	50代	176	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	駅構内のポスター広告、デジタル広告	23.3	15.3	14.2	12.5	9.7
	60代	235	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	「広報よこはま」	自治会・町内会の回覧チラシ	21.3	14.5	11.1	11.1	9.8
	70歳以上	325	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	自治会・町内会の回覧チラシ	自治会・町内会の掲示板ポスター	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	22.2	19.1	11.7	10.5	10.2
	女 性	1,378	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	「広報よこはま」	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	22.1	13.9	13.1	12.3	7.3
	10代・20代	108	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	駅構内のポスター広告、デジタル広告	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	鉄道車内の広告（ポスター、動画広告）	自治会・町内会の掲示板ポスター	25.0	19.4	15.7	14.8	10.2
	30代	165	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の掲示板ポスター	鉄道車内の広告（ポスター、動画広告）	「広報よこはま」	23.6	22.4	12.7	9.1	9.1
	40代	233	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の掲示板ポスター	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	「広報よこはま」	駅構内のポスター広告、デジタル広告	28.8	15.0	14.6	8.6	8.2
	50代	207	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の掲示板ポスター	「広報よこはま」	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	25.1	17.4	13.5	10.6	8.7
	60代	280	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	自治会・町内会の掲示板ポスター	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	20.7	15.4	13.2	12.9	11.4
	70歳以上	384	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	「広報よこはま」	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	自治会・町内会の掲示板ポスター	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	16.4	15.4	11.2	10.4	8.9
投票参加別	投票した	1,728	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	「広報よこはま」	自治会・町内会の掲示板ポスター	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	24.2	15.1	13.6	13.0	8.5
	投票しなかった	745	投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）	自治会・町内会の掲示板ポスター	商店街・歩道橋・行政機関などの看板・横断幕・懸垂幕、フラッグ	「広報よこはま」	新聞広告（7月17日・19日発行の記事下広告）	15.7	12.3	10.9	6.6	5.5

2 期日前投票、不在者投票について

(1) 期日前投票、不在者投票の認知度

◇ 「知っていた」は 96.5%

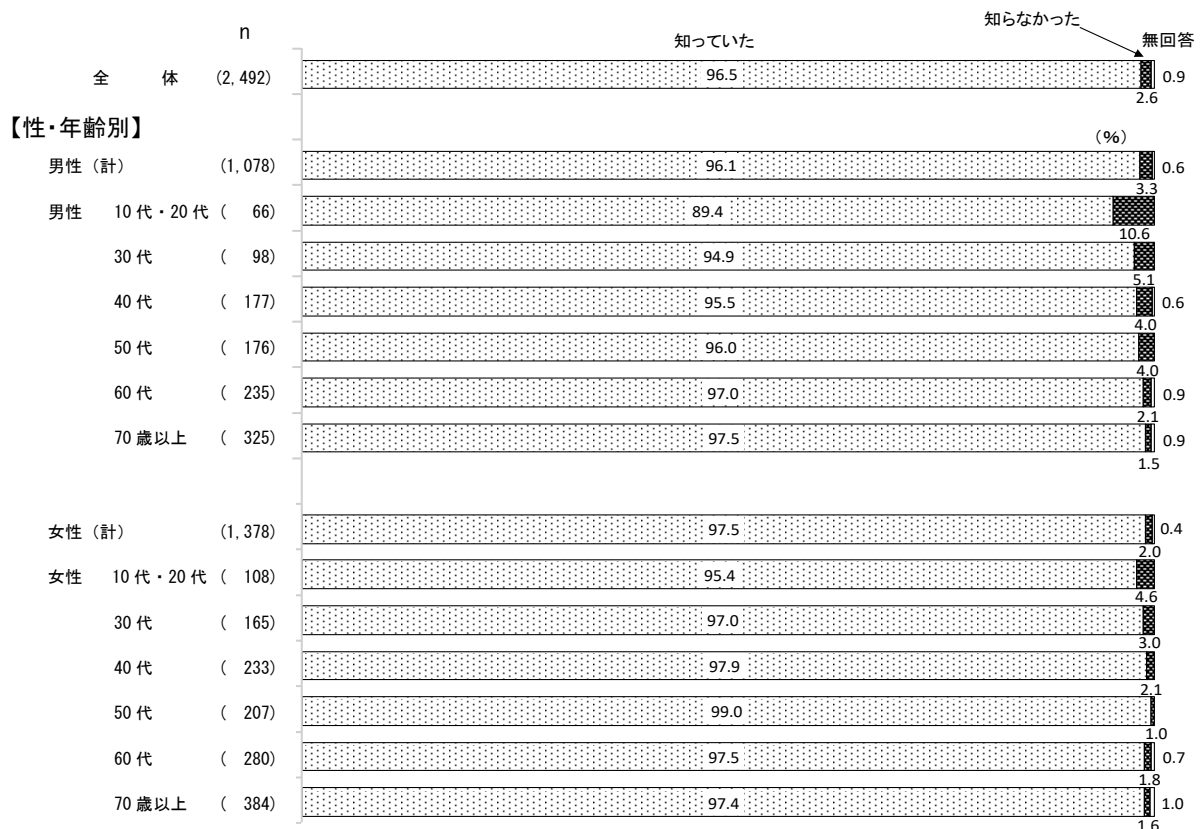


期日前投票、不在者投票を知っていたか聞いたところ、「知っていた」が 96.5%、「知らなかった」は 2.6%で「知っていた」がほとんどを占めている。

平成27年調査(第16回 統一地方選挙後)と比較すると、「知っていた」(96.5%)は、前回(90.4%)より 6.1ポイント増加しているが、平成25年調査(第15回 市長選挙後)と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。(図Ⅲ-2-1)

性・年齢別にみると、「知っていた」は男性10代・20代で僅かに9割を切っているが、それ以外では、男女共に9割を超え「知っていた」が高い割合を占めている。(図表Ⅳ-2-2)

図表Ⅳ-2-2 期日前投票、不在者投票の認知度(性・年齢別)

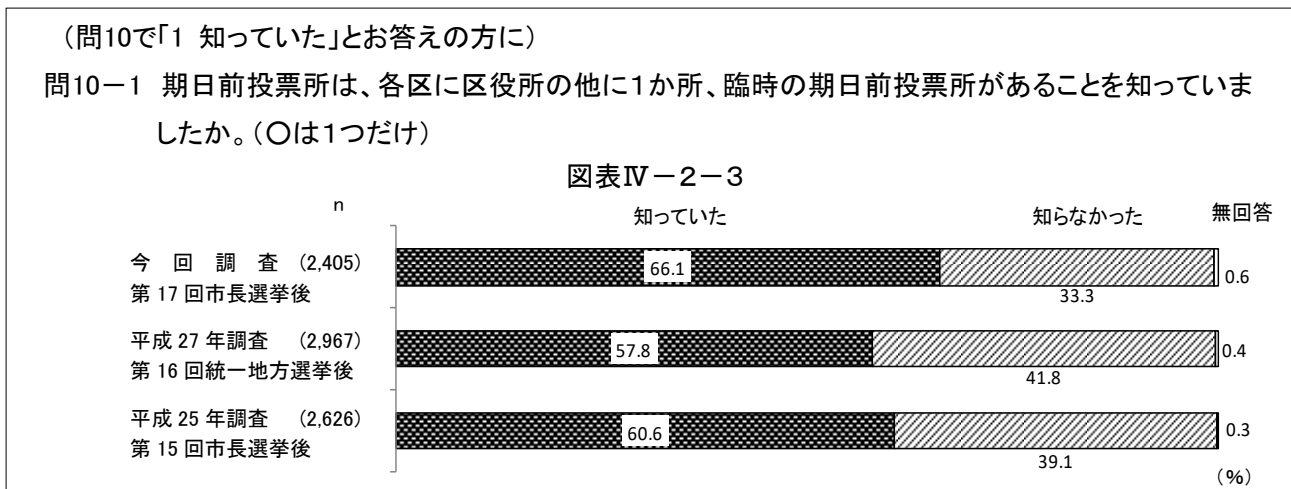


(2) 臨時の期日前投票所について

◇ 「知っていた」は 66.1%

(問10で「1 知っていた」とお答えの方に)

問10-1 期日前投票所は、各区に区役所の他に1か所、臨時の期日前投票所があることを知っていましたか。(〇は1つだけ)

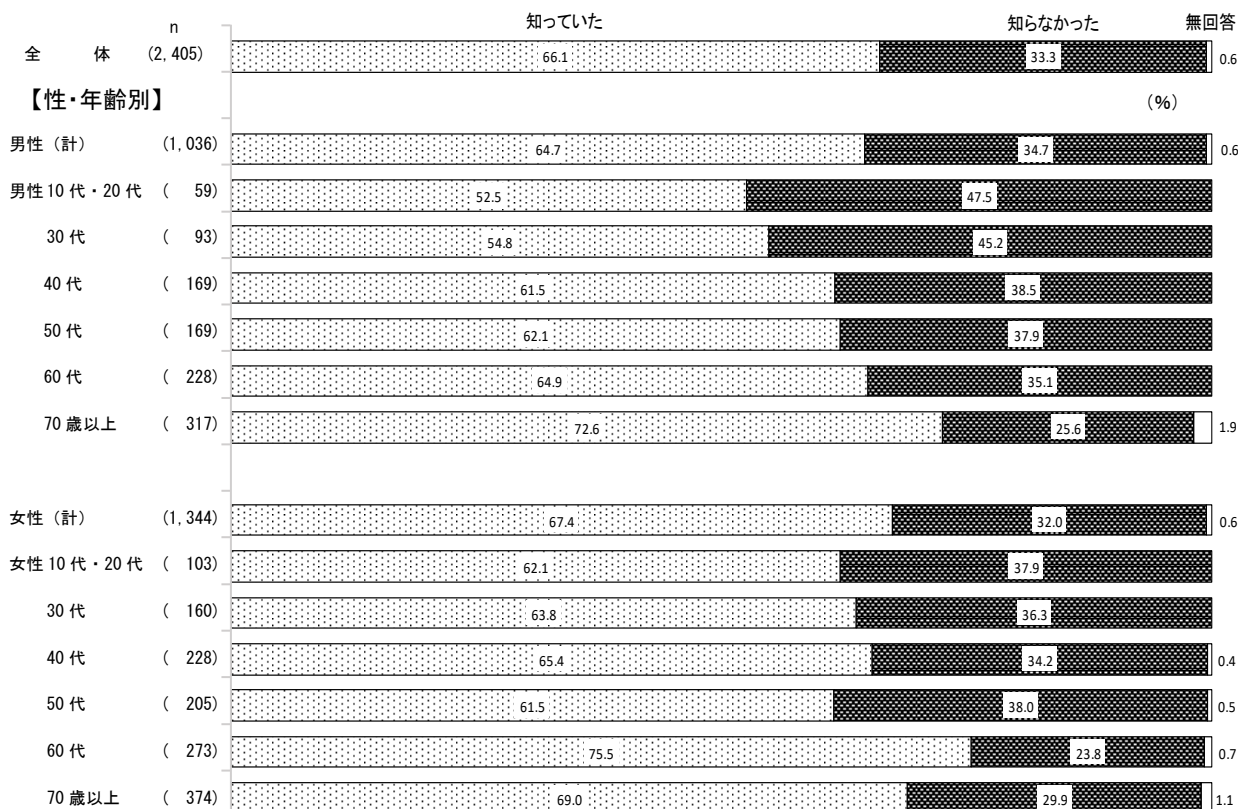


期日前投票、不在者投票を「知っていた」と答えた方(2,405人)に、臨時の期日前投票所があることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」は66.1%、「知らなかった」は33.3%となっている。

平成27年調査(第16回統一地方選挙後)と比較すると、「知っていた」(66.1%)は、前回(57.8%)より8.3ポイント増加している。(図表Ⅳ-2-3)

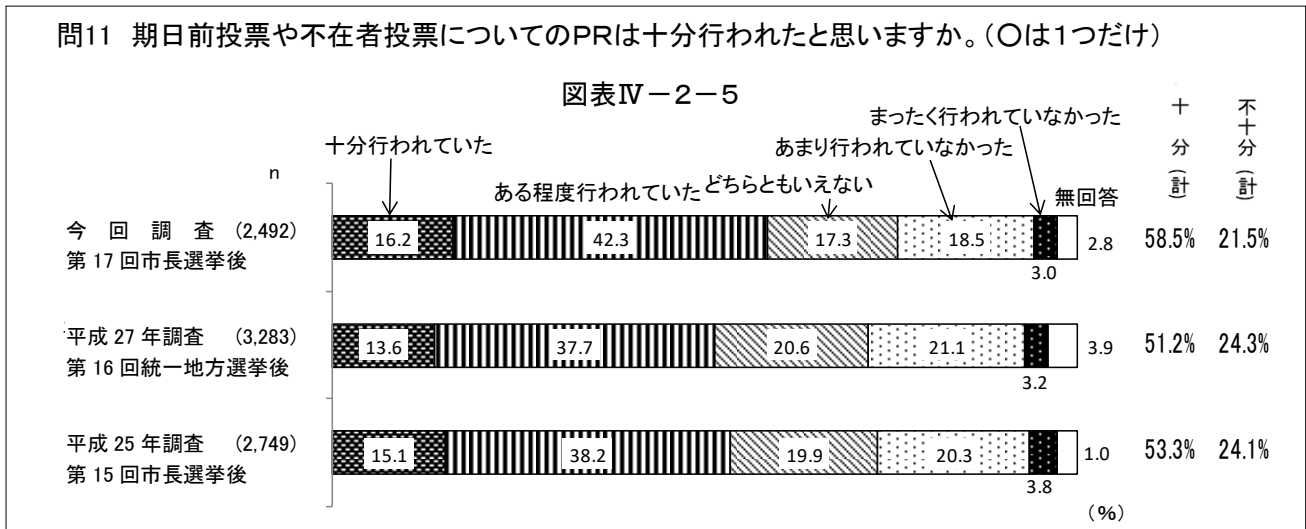
性・年齢別にみると、「知っていた」は、男女ともに全ての年代で5割を上回っており、女性60代が75.5%と最も高くなっている他は、年代が上がるにつれて「知っていた」の割合が高くなる傾向になっている。(図表Ⅳ-2-4)

図表Ⅳ-2-4 臨時の期日前投票所について(性・年齢別)



(3) 期日前投票、不在者投票のPR

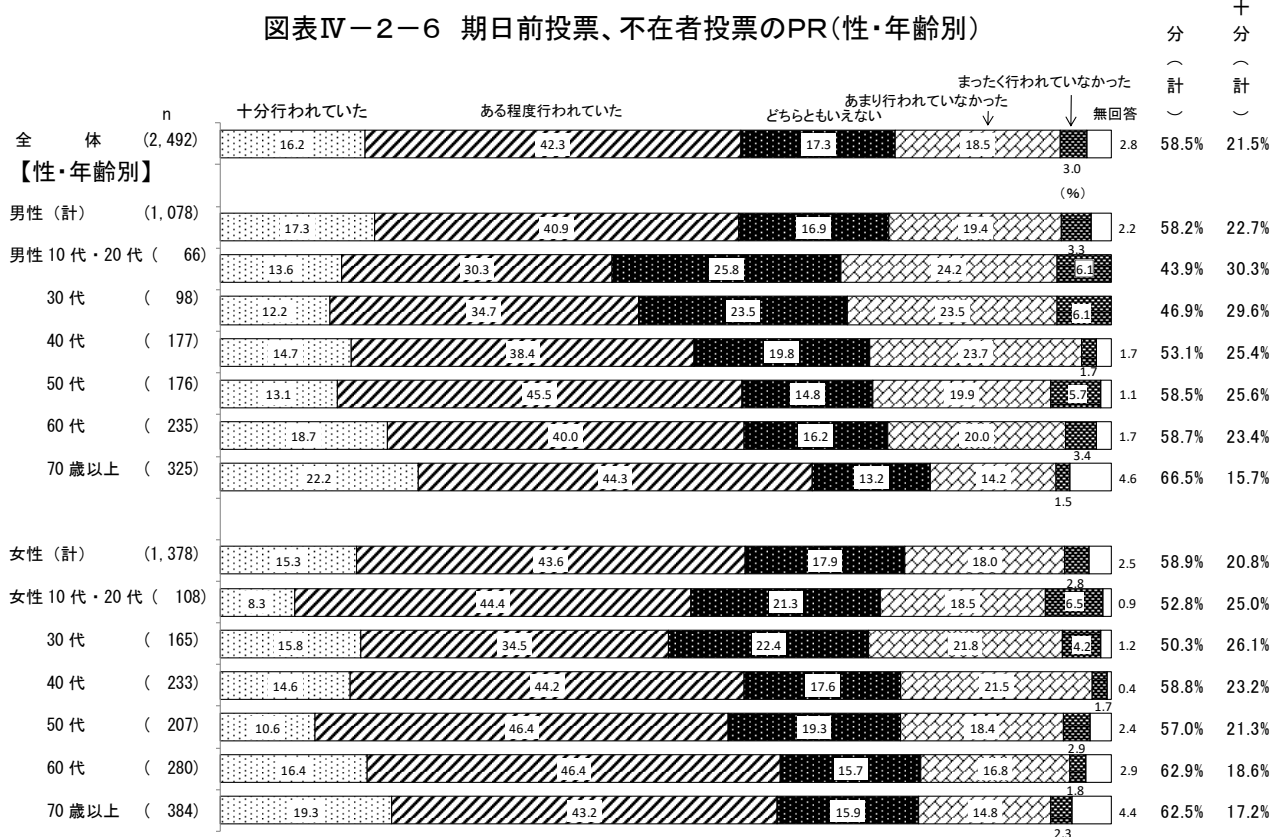
◇「十分行われていた」、「ある程度行われていた」の計が 58.5%



期日前投票、不在者投票のPRが十分行われたか聞いたところ、「十分行われていた」(16.2%)と「ある程度行われていた」(42.3%)を合わせた『十分(計)』は58.5%となっている。一方、「あまり行われていなかった」(18.5%)と「まったく行われていなかった」(3.0%)を合わせた『不十分(計)』は21.5%となっている。

平成27年調査(第16回統一地方選挙後)と比較すると、『十分(計)』(58.5%)は、前回(51.2%)より7.3ポイント増加している。(図Ⅳ-2-5)

性・年齢別にみると、『十分(計)』は男性10代・20代で43.9%と男性30代で46.9%と他より低いが、それ以外は男女ともに5割を超え、男性では、年齢が上がるにつれて高くなる傾向になっている。(図表Ⅳ-2-6)



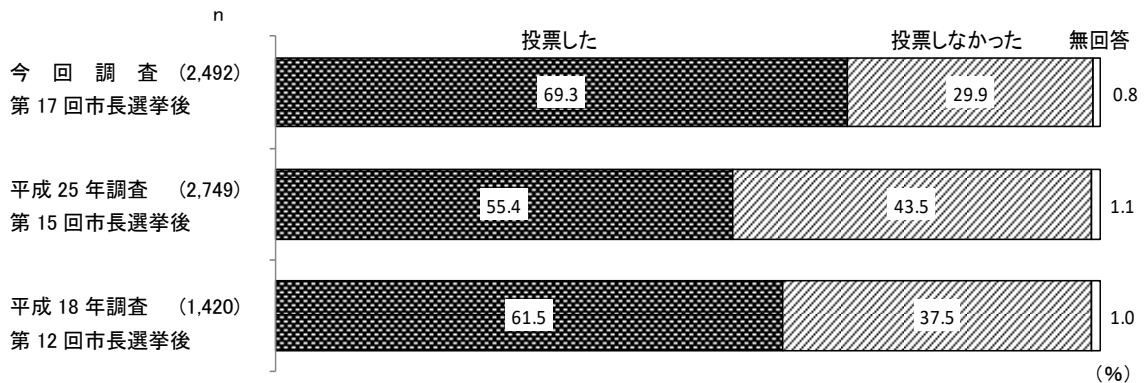
3 投票への参加状況

(1) 投票への参加状況

◇ 市長選挙に投票した人は 69.3%

問12 あなたは、今回の市長選挙では、投票（※当日投票の他、期日前投票や不在者投票を含む）しましたか。（○は1つだけ）

図表Ⅳ-3-1



市長選挙への参加状況を聞いたところ、「投票した」が 69.3%で、「投票しなかった」は 29.9%となっている。

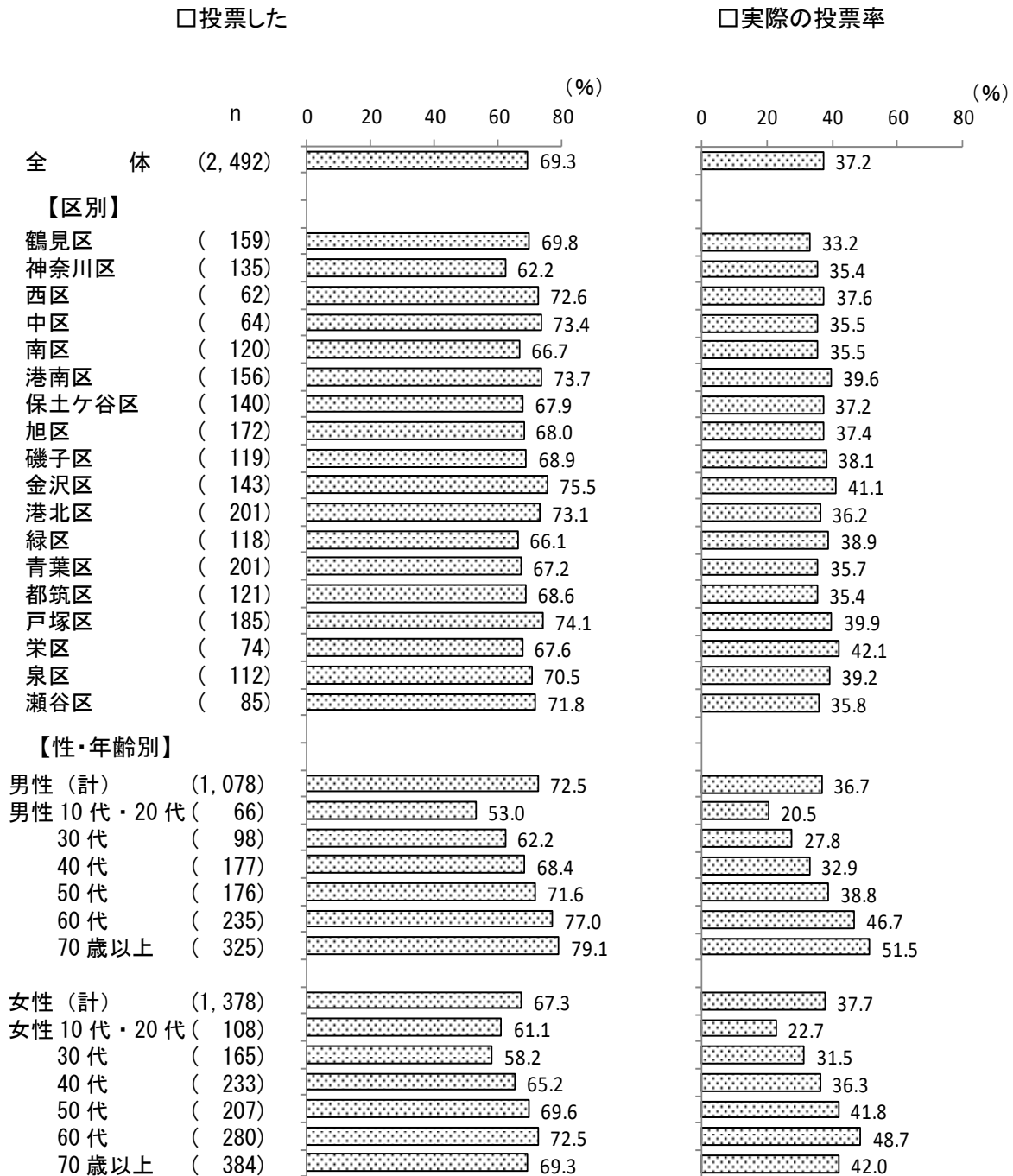
平成 25 年調査（第 15 回 市長選挙後）及び平成 18 年調査（第 12 回 市長選挙後）と比較すると、「投票した」は、平成 25 年調査（55.4%）より 13.9 ポイント、平成 18 年調査（61.5%）より 7.8 ポイント高くなっている。（図表Ⅳ-3-1）

※注：選挙後の調査で示された投票率と実施の投票率との間に差が生じるのは、調査協力者の投票率は相対的に高いことが主な要因と考えられる。この傾向は、現在の調査方法では避けがたいが、調査結果の数値を一定の傾向値として分析する限り、支障はないといえる。

区別にみると、「投票した」は、金沢区で75.5%、戸塚区で74.1%と多くなっている。(図IV-3-2)

性・年齢別にみると、「投票した」は、男性(72.5%)が女性(67.3%)よりも5.2ポイント高く、男女ともに10代・20代と30代が低く、おおむね年代が上がるにつれて高くなる傾向になっている。男性50歳以上と女性60代で7割を超えている。(図表IV-3-2)

図表IV-3-2 投票への参加状況(区別、性・年齢別)



居住年数別にみると、「投票した」は、居住年数が長くなるにつれて高くなる傾向になっている。(図IV-3-3)

前居住地別にみると、「投票した」は、「東京都」(67.5%)でやや低めの傾向が見られる。(図IV-3-3)

職業別にみると、「投票した」は、「経営・管理職」(75.6%)が最も多く、次いで「技能・労務職」(72.4%)、「無職・その他」(71.4%)となっている。「学生」は、59.5%ときわめて少ない結果となっている。(図IV-3-3)

住居形態別にみると、「投票した」は、「持ち家」(72.2%)が「持ち家以外」(60.0%)より12.2ポイント高くなっている。(図IV-3-3)

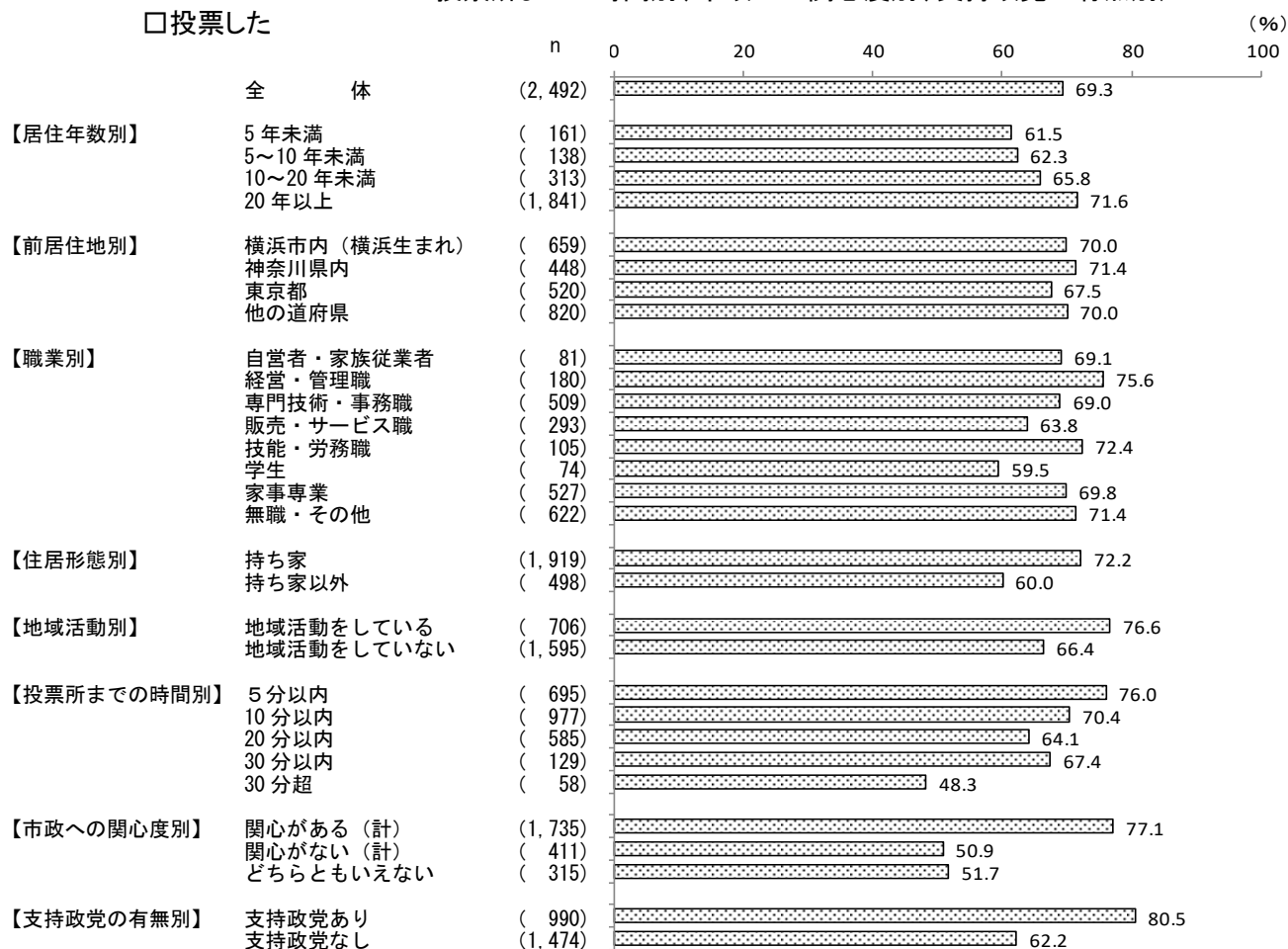
地域活動別にみると、「投票した」は、「地域活動をしている」(76.6%)が「地域活動をしていない」(66.4%)より10.2ポイント高くなっている。(図IV-3-3)

投票所までの時間別にみると、「投票した」は、「5分以内」(76.0%)が最も高く、次いで「10分以内」(70.4%)となっている。(図IV-3-3)

市政への関心度別にみると、「投票した」は、市政への『関心がある(計)』(77.1%)が『関心がない(計)』(50.9%)より26.2ポイント高くなっている。(図IV-3-3)

支持政党の有無別にみると、「投票した」は、「支持政党あり」(80.5%)が「支持政党なし」(62.2%)より18.3ポイント高くなっている。(図IV-3-3)

図表IV-3-3 投票への参加状況(居住年数別、前居住地域別、職業別、住居形態別、地域活動別、投票所までの時間別、市政への関心度別、支持政党の有無別)

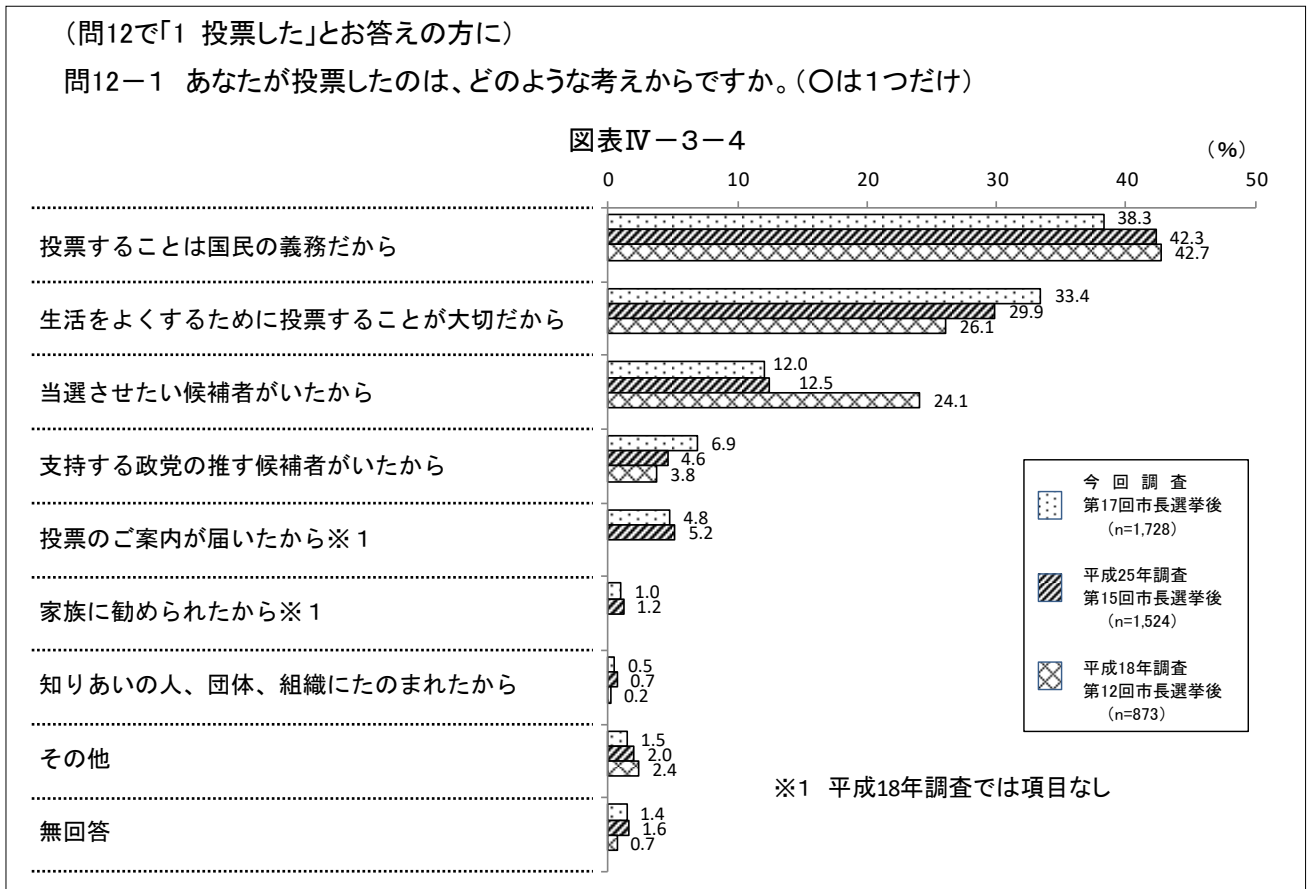


(2) 投票の動機

◇ 「投票することは国民の義務だから」が 38.3%

(問12で「1 投票した」とお答えの方に)

問12-1 あなたが投票したのは、どのような考えからですか。(○は1つだけ)



市長選挙に「投票した」と答えた方(1,728人)に、投票の動機について聞いたところ、「投票することは国民の義務だから」が38.3%と最も多く、次いで「生活をよくするために投票することが大切だから」(33.4%)、「当選させたい候補者がいたから」(12.0%)などの順となっている。

平成25年調査(第15回市長選挙後)及び平成18年調査(第12回市長選挙後)と比較すると、「生活をよくするために投票することが大切だから」、「支持する政党の推す候補者がいたから」では増加傾向となっており、「投票することは国民の義務だから」、「当選させたい候補者がいたから」では減少傾向になっている。(図表Ⅳ-3-4)

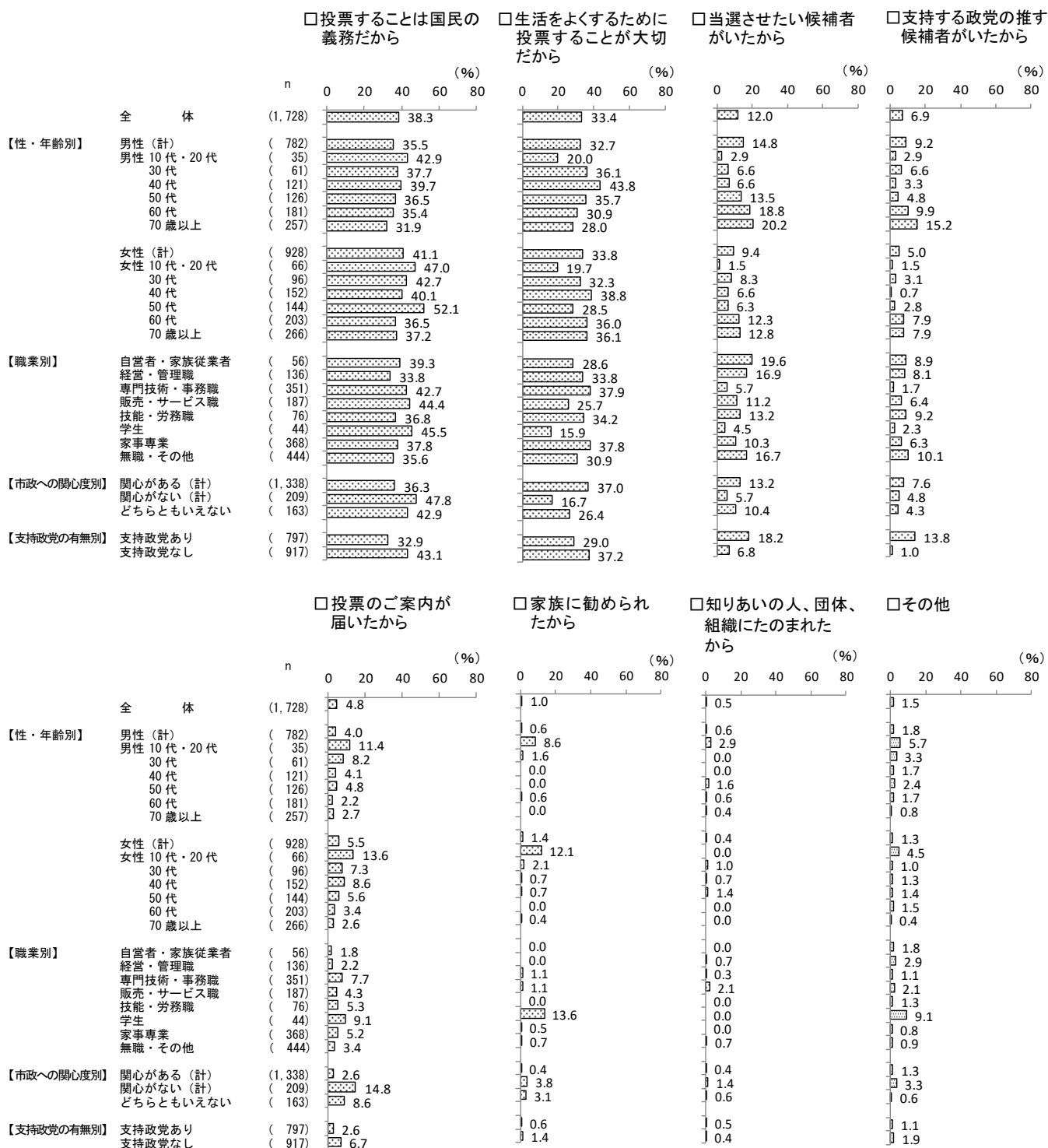
性・年齢別にみると、「投票することは国民の義務だから」は、男性10代・20代と女性の50代で最も高くなっている。「当選させたい候補者がいたから」は男性で年代が上がるにつれて高くなっている。また、「家族に勧められたから」は男女ともに10代・20代で最も多くなっている。(図表Ⅳ-3-5)

職業別にみると、「投票することは国民の義務だから」はすべての職業で最も多くなっており、学生で45.5%となっている。(図表Ⅳ-3-5)

市政への関心度別にみると、「投票することは国民の義務だから」、「投票のご案内が届いたから」、「家族に勧められたから」では、「関心がない人」の方が「関心がある人」より高くなっている一方、「生活をよくするために投票することが大切だから」、「当選させたい候補者がいたから」、「支持する政党の推す候補者がいたから」では、「関心がある人」が「関心がない人」より高くなっている。(図表Ⅳ-3-5)

支持政党の有無別にみると、「投票することは国民の義務だから」は支持政党のない人（43.1%）の方が、支持政党のある人（32.9%）より10.2ポイント高くなっている。一方、「支持する政党の推す候補者がいたから」は支持政党のある人（13.8%）の方が、支持政党のない人（1.0%）より12.8ポイント、「当選させたい候補者がいたから」は支持政党のある人（18.2%）の方が、支持政党のない人（6.8%）より11.4ポイント、それぞれ高くなっている。（図表IV-3-5）

図表IV-3-5 投票の動機(性・年齢別、職業別、市政への関心度別、支持政党の有無別)



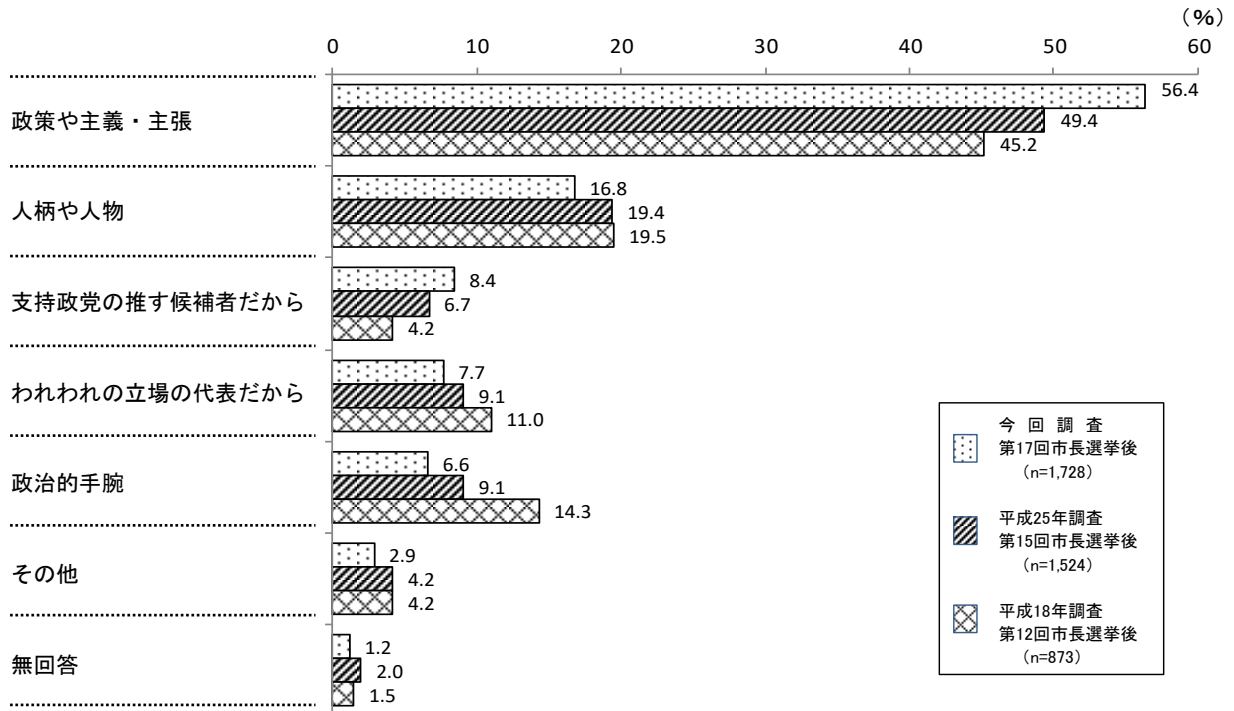
(3) 候補者選定の基準

◇ 「政策や主義・主張」が 56.4%

(問12で「1 投票した」とお答えの方に)

問12-2 候補者に投票する際、どんな点を一番重視しましたか。(○は1つだけ)

図表Ⅳ-3-6



市長選挙に「投票した」と答えた方(1,728人)に、候補者選定の基準について聞いたところ、「政策や主義・主張」が56.4%と最も多く、次いで「人柄や人物」(16.8%)、「支持政党の推す候補者だから」(8.4%)、「われわれの立場の代表だから」(7.7%)の順になっている。

平成25年調査(第15回市長選挙後)及び平成18年調査(第12回市長選挙後)と比較すると、「政策や主義・主張」、「支持政党の推す候補者だから」は増加傾向、「人柄や人物」「われわれの立場の代表だから」、「政治的手腕」は減少傾向にある。(図表Ⅳ-3-6)

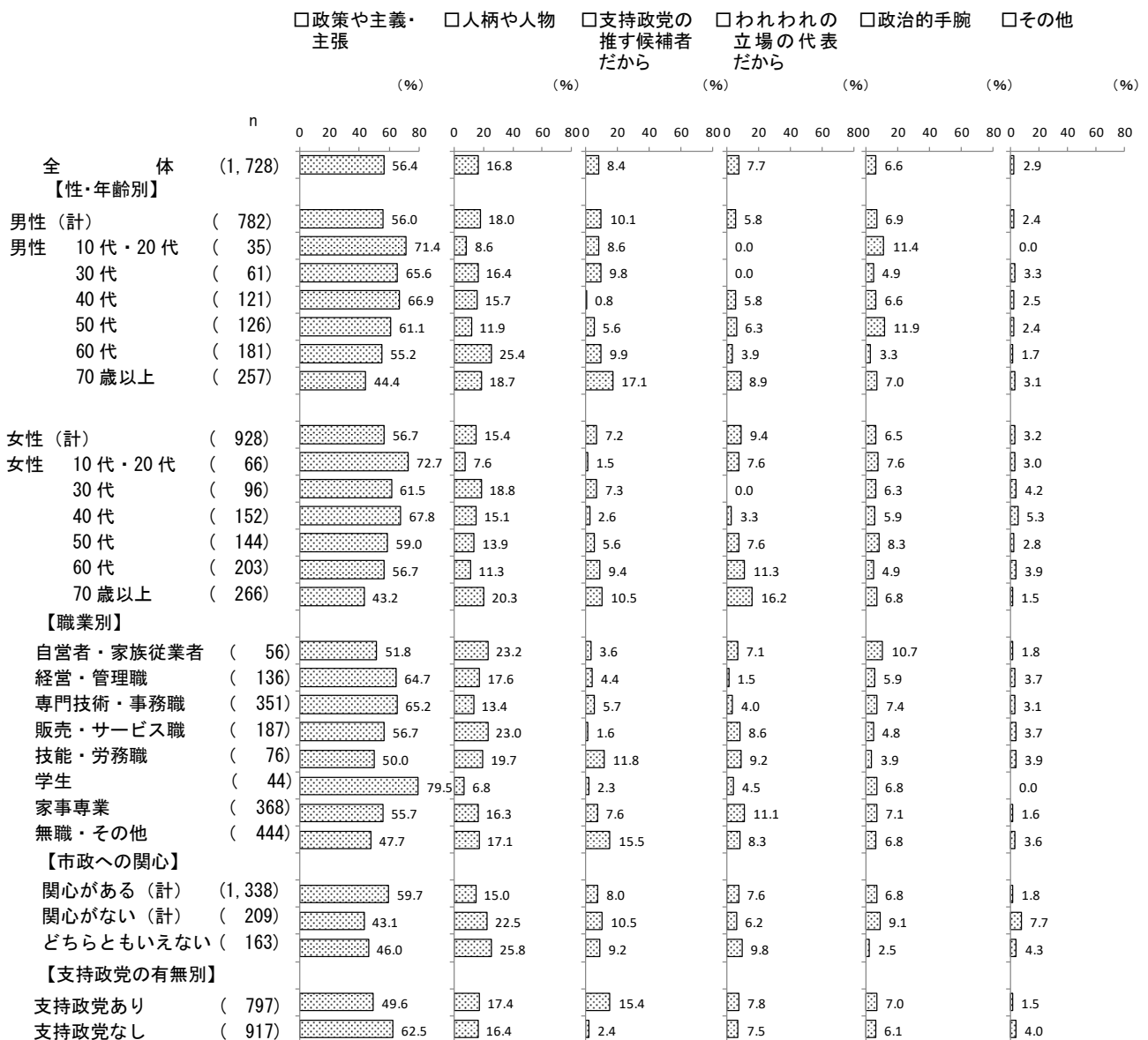
性・年齢別にみると、「政策や主義・主張」はすべての性・年齢で最も高く、年齢が上がるにつれて概ね低くなる傾向になっている。(図表Ⅳ-3-7)

職業別にみると、「学生」では、他の職業に比べて「政策や主義・主張」は、79.5%と最も多くなっている一方、「人柄や人物」、「支持政党の推す候補者だから」は他より低くなっている。(図表Ⅳ-3-7)

市政への関心度別にみると、「政策や主義・主張」は、「関心のある人」(59.7%)の方が、「関心のない人」(43.1%)より16.6ポイント高くなっている。(図表Ⅳ-3-7)

支持政党の有無別にみると、「支持政党の推す候補者だから」は支持政党のある人(15.4%)が、支持政党のない人(2.4%)より13.0ポイント高くなっている。「政策や主義・主張」は支持政党のない人(62.5%)の方が、支持政党のある人(49.6%)より12.9ポイント高くなっている。(図表Ⅳ-3-7)

図表Ⅳ-3-7 候補者選定の基準(性・年齢別、職業別、市政への関心度別、支持政党の有無別)



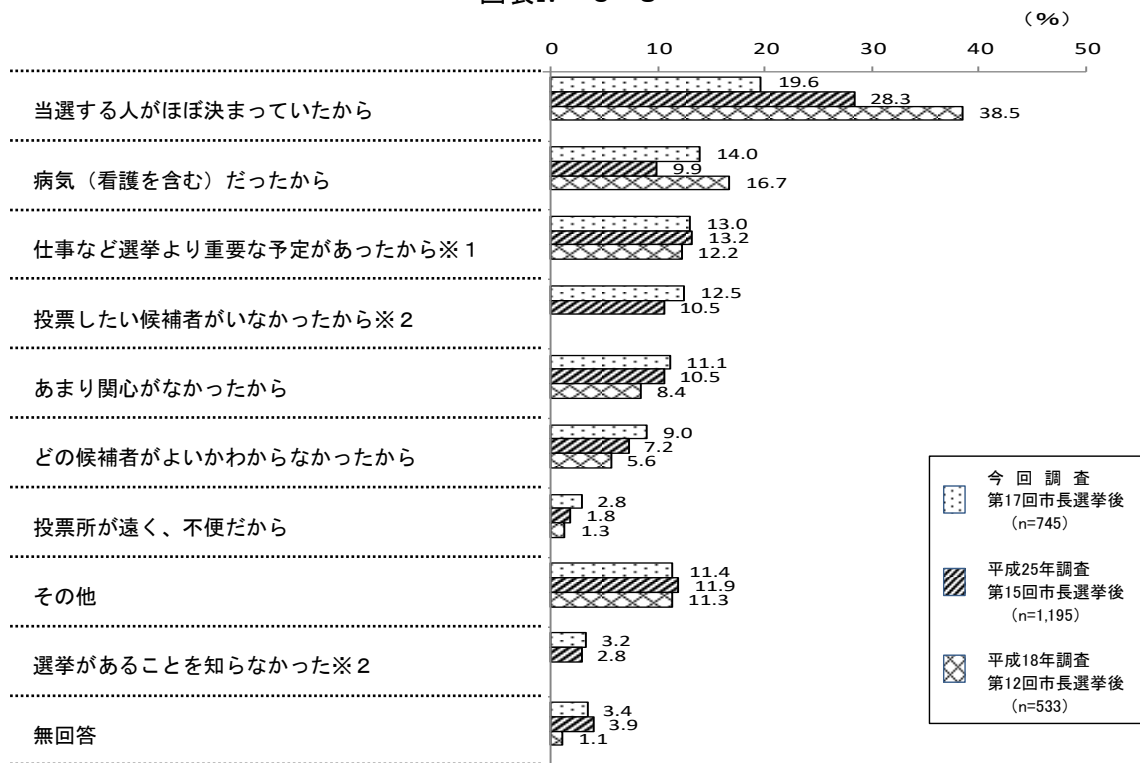
(4) 棄権の理由

◇ 「当選する人がほぼ決まっていたから」が 19.6%

(問12で「2 投票しなかった」とお答えの方に)

問12-3 あなたが投票しなかった主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

図表Ⅳ-3-8



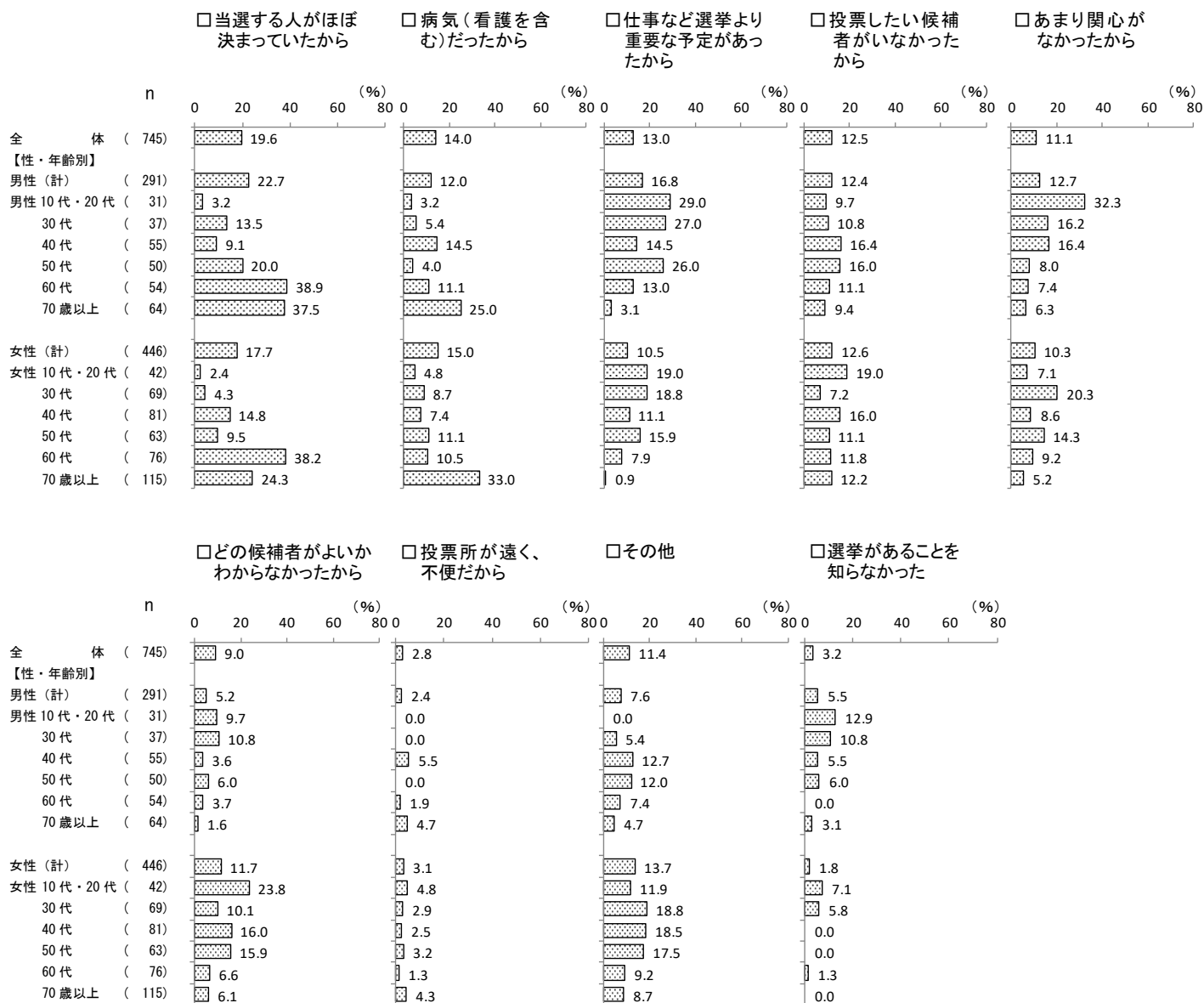
※1 平成18年調査は「選挙より重要な予定がすでに決まっていたから」
平成25年調査は「仕事や商売など選挙より重要な予定があったから」
※2 平成18年調査では項目なし

市長選挙に「投票しなかった」と答えた方(745人)に、棄権の理由を聞いたところ、「当選する人がほぼ決まっていたから」が19.6%で最も多く、次いで「病気(看護を含む)だったから」(14.0%)、「仕事など選挙より重要な予定があったから」(13.0%)、「投票したい候補者がいなかったから」(12.5%)、「あまり関心がなかったから」(11.1%)、「どの候補者がよいかわからなかったから」(9.0%)などの順となっている。

平成25年調査(第15回市長選挙後)及び平成18年調査(第12回市長選挙後)と比較すると、主な理由の多い順の傾向は、ほぼ同様であるが、「当選する人がほぼ決まっていたから」は減少しており、それ以外では、増加している理由が多い。(図表Ⅳ-3-8)

性・年齢別にみると、「当選する人がほぼ決まっていたから」では、男女ともに60代以降で高くなっている。一方、「あまり関心がなかったから」、「どの候補者がよいかわからなかったから」では、男女ともに60代以降で低くなる傾向がある。なお、「選挙があることを知らなかった」は男性の10代・20代と30代で1割以上、女性の10代・20代（7.1%）で多くなっている。（図表IV-3-9）

図表IV-3-9 棄権の理由(性・年齢別)



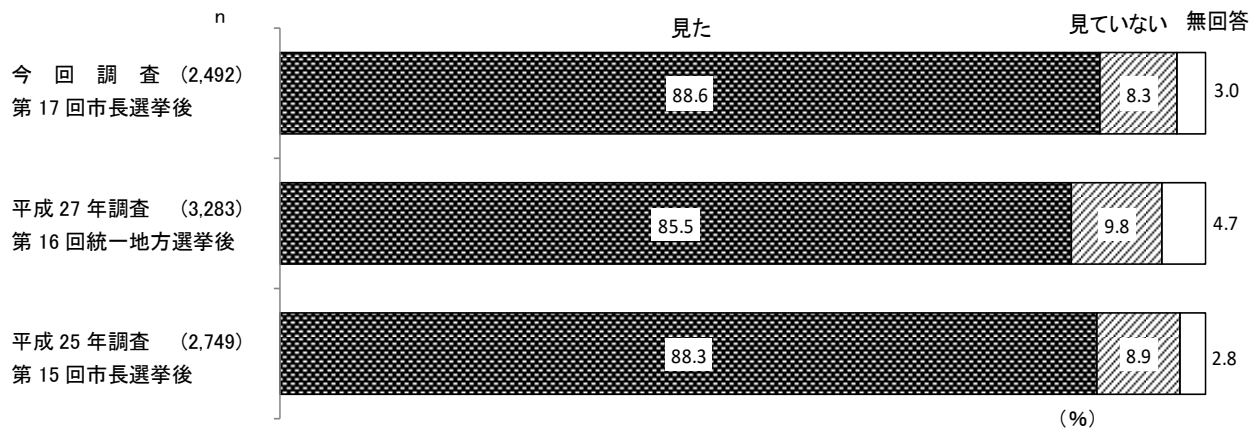
4 投票のご案内について

(1) 「投票のご案内」の確認状況

◇ 「投票のご案内」を見た人は 88.6%

問13「投票のご案内」を、世帯ごとにひとつの封筒に同封して郵送していますが、「投票のご案内」をご覧になりましたか。(〇は1つだけ)

図表Ⅳ-4-1



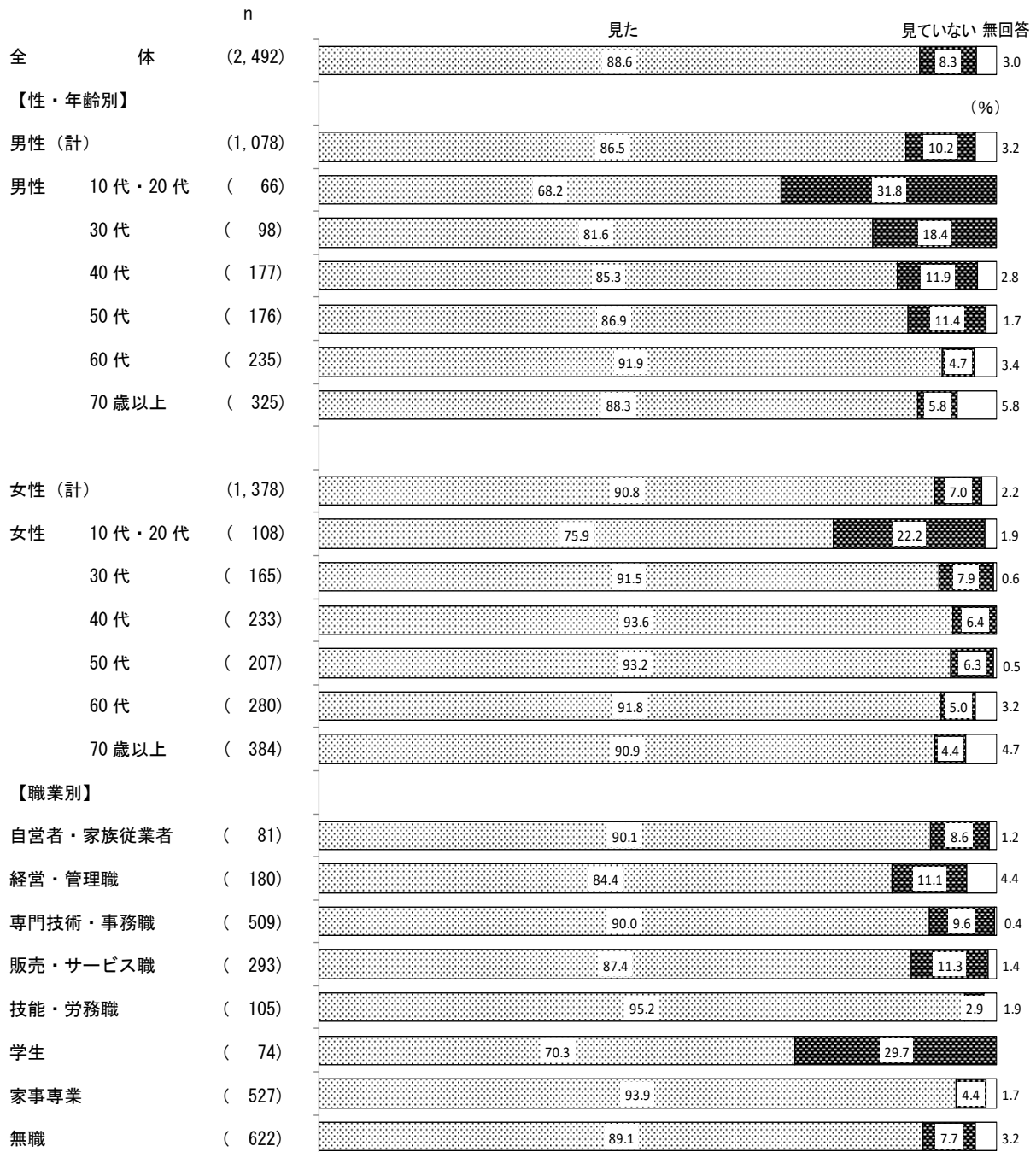
投票のご案内を見たか聞いたところ、「見た」が88.6%、「見ていない」が8.3%となっている。

平成27年調査（第16回統一地方選挙後）及び平成25年調査（第15回市長選挙後）と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。（図表Ⅳ-4-1）

性・年齢別にみると、「見た」は、男女の傾向にほとんど違いはなく、10代・20代で男性（68.2%）、女性（75.9%）で他の年代に比べて低くなっている。（図表Ⅳ－４－２）

職業別にみると、「見た」は、学生で70.3%となっており、他の職業に比べ低くなっている。（図表Ⅳ－４－２）

図表Ⅳ－４－２ 「投票のご案内」の確認状況（性・年齢別、職業別）



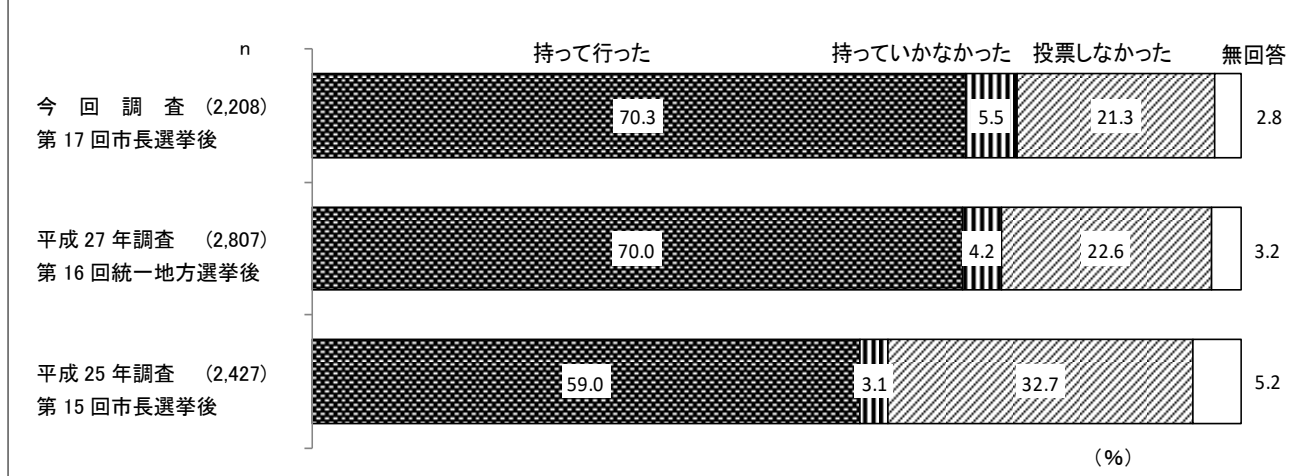
(2) 「投票のご案内」の持参状況

◇ 「投票のご案内」を持って行った人は 70.3%

(問13で「1 見た」とお答えの方に)

問13-1 投票所にご自分の「投票のご案内」をお持ちいただきましたか。(○は1つだけ)

図表IV-4-3

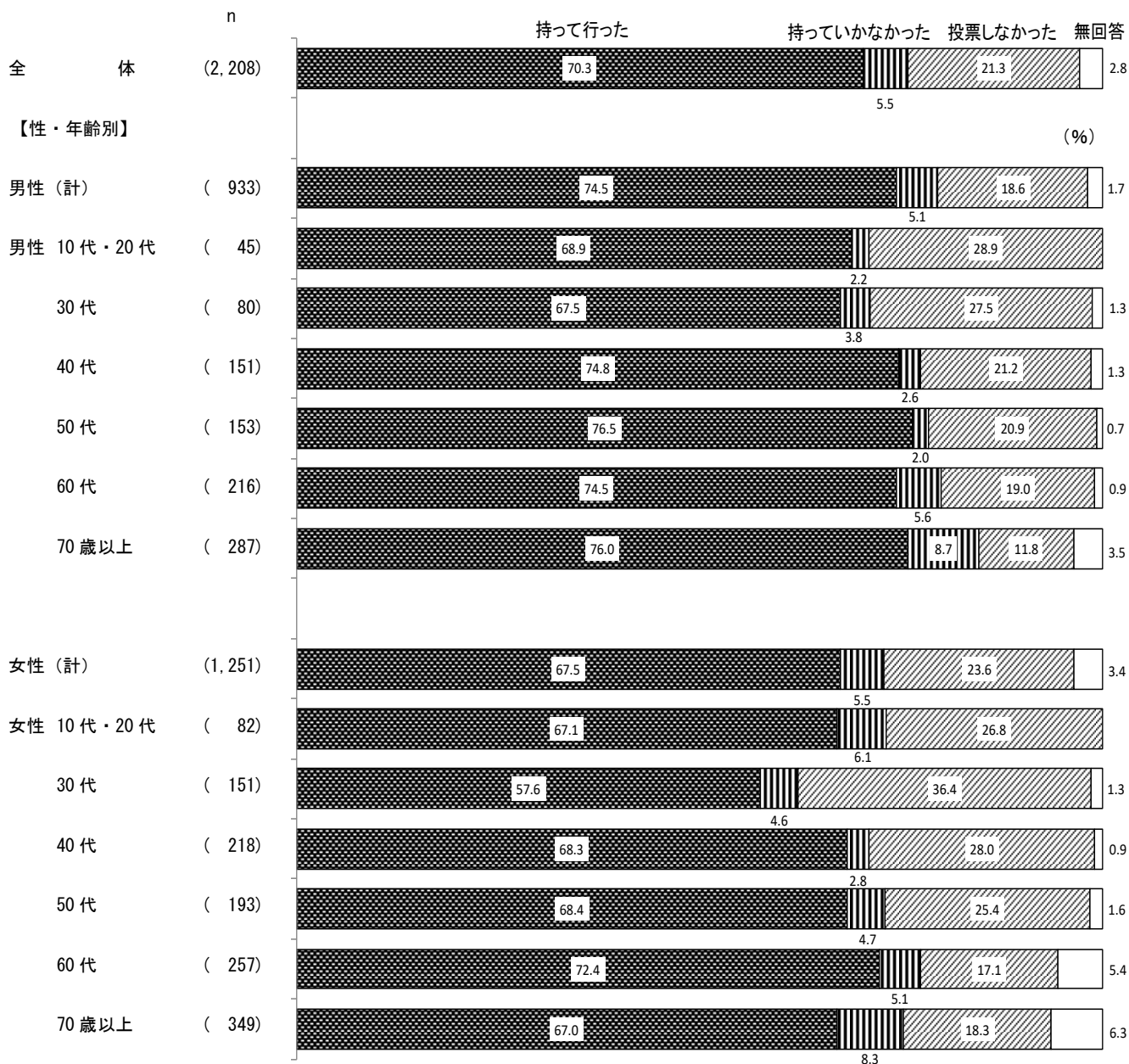


投票のご案内を「見た」と答えた方 (2,208 人) に、投票所への持参状況について聞いたところ、「持って行った」が 70.3%、「持って行かなかった」が 5.5%となっている。

平成 25 年調査 (第 15 回 市長選挙後) と比較すると、「持って行った」(70.3%) は、前々回 (59.0%) より 11.3 ポイント増加しているが、平成 27 年調査 (16 回 統一地方選挙後) と比較すると、ほぼ横ばい状態となっている。(図表IV-4-3)

性・年齢別にみると、「持って行った」は、男女ともおおむね年代が高くなるほど割合が多くなる傾向があるが、女性30代では、57.6%と最も低くなっている。「持って行かなかった」はすべての年代で1割未満となっている。(図表IV-4-4)

図表IV-4-4 「投票のご案内」の持参状況(性・年齢別)



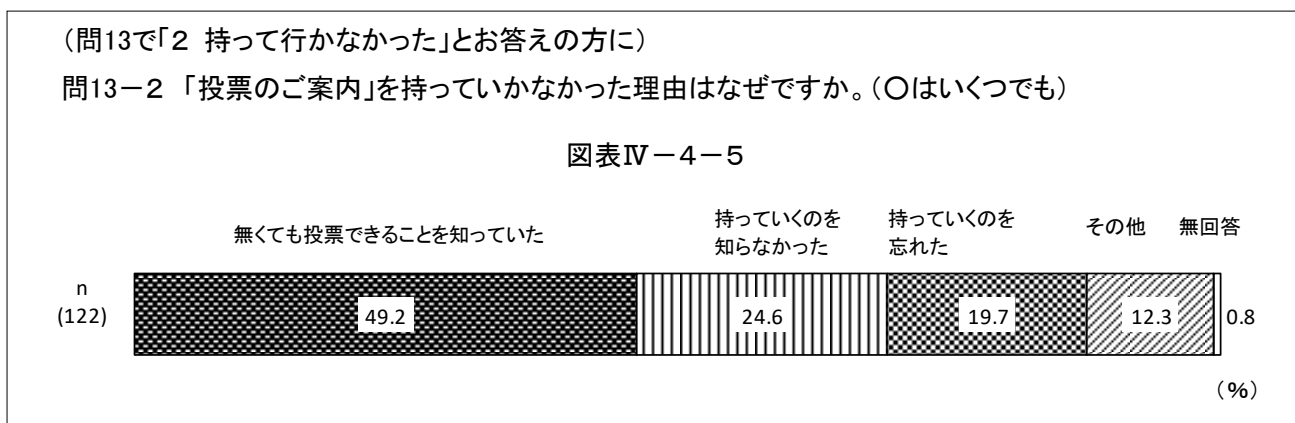
(3) 「投票のご案内」を持参しなかった理由

◇ 「無くて投票できることを知っていた」が 49.2%

(問13で「2 持って行かなかった」とお答えの方に)

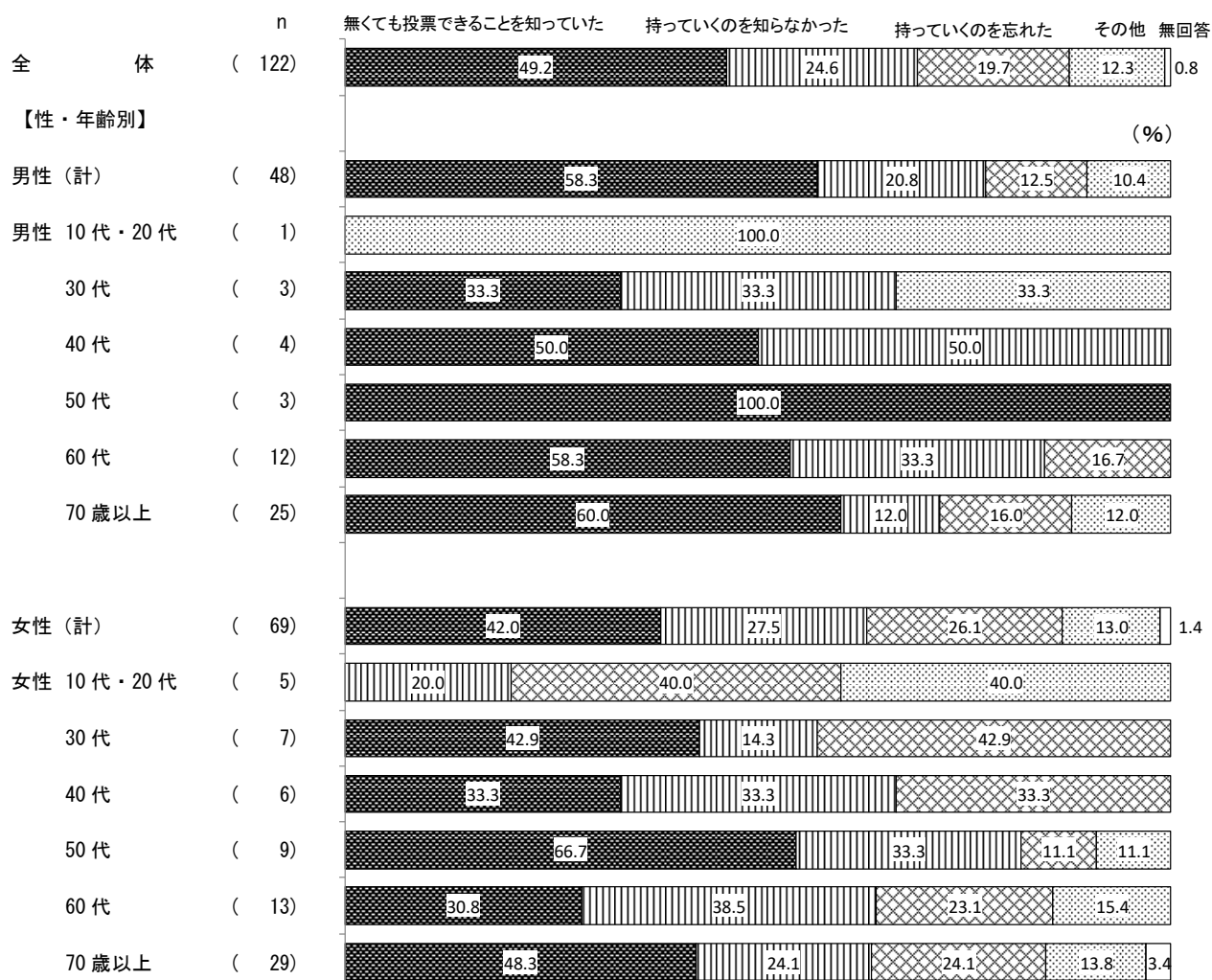
問13-2 「投票のご案内」を持って行かなかった理由はなぜですか。(〇はいくつでも)

図表Ⅳ-4-5



「投票のご案内」を「持って行かなかった」と答えた方(122人)に、持って行かなかった理由について聞いたところ、「無くて投票できることを知っていた」が49.2%と最も多く、次いで「持っていくのを知らなかった」(24.6%)、「持っていくのを忘れた」(19.7%)となっている。(図表Ⅳ-4-5)

図表Ⅳ-4-6 「投票のご案内」を持って行かなかった理由(性・年齢別)



5 選挙運動の接触と効果

◇ 見聞きした、すすめられたものは「候補者のポスター」が48.9%で最も多い

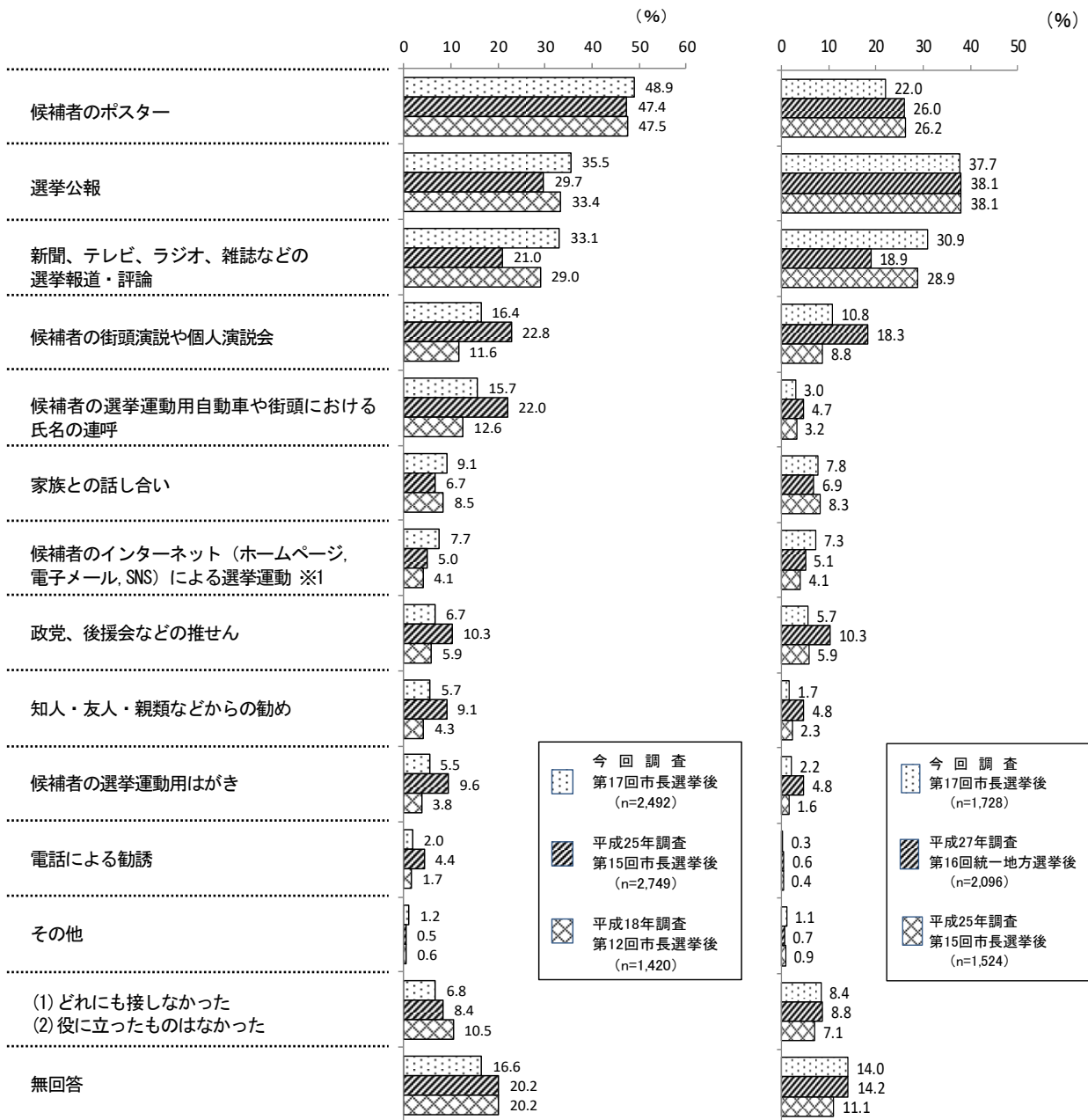
◇ 候補者選定に役立ったものは「選挙公報」が37.7%で最も多い

問14 今回の市長選挙で、あなたが見たり聞いたり、また、すすめられたものがありましたら、すべてあげてください。また、問12で「1 投票した」とお答えの方は、それらのうち、投票する候補者を決めるのに役に立ったものがありましたら、いくつでもあげてください。(〇はいくつでも)

図表Ⅳ-5-1

(1) 見聞きした、すすめられたもの

(2) 候補者の選定に役立ったもの



(1) 見聞きした、すすめられた選挙運動等

今回の市長選挙で、見聞きした選挙運動等を聞いたところ、「候補者のポスター」が48.9%で最も多く、次いで「選挙公報」(35.5%)、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」(33.1%)、「候補者の街頭演説や個人演説会」(16.4%)、「候補者の選挙運動用自動車や街頭における氏名の連呼」(15.7%)などの順となっている。

平成27年調査(第16回 統一地方選挙後と比較すると、「選挙公報」(35.5%)は、前回(29.7%)より5.8ポイント、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」(33.1%)は、前回(21.0%)より12.1ポイント、「家族との話し合い」(9.1%)は、前回(6.7%)より2.4ポイント増加しており、「候補者の街頭演説や個人演説会」(16.4%)は、前回(22.8%)より6.4ポイント、「候補者の選挙運動用自動車や街頭における氏名の連呼」(15.7%)は、前回(22.0%)より6.3ポイント減少している。一方、平成25年調査(第15回 市長選挙後)と比較すると大きな差は見られない。(図表IV-5-1)

投票参加別にみると、「どれにも接しなかった」を除く全ての項目で「投票した」が「投票しなかった」を上回っており、「選挙公報」で19.4ポイント、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」で15.0ポイント高くなっている。一方、「どれにも接しなかった」では、投票しなかった人(14.5%)が投票した人(3.5%)より11.0ポイント高くなっている。(図表IV-5-2)

図表IV-5-2 見聞きした、すすめられた選挙運動等(投票参加別)

選 択 肢	(1)見聞きした、すすめられたもの		
	全 市 (n=2,492)	投票した (n=1,728)	投票しなかった (n=745)
候補者のポスター	48.9	① 50.3	① 46.7
選挙公報	35.5	② 41.5	③ 22.1
新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論	33.1	③ 37.8	② 22.8
候補者の街頭演説や個人演説会	16.4	④ 17.3	⑤ 14.6
候補者の選挙運動用自動車や街頭における氏名の連呼	15.7	⑤ 16.0	④ 15.3
家族との話しあい	9.1	⑥ 11.0	⑧ 4.7
候補者のインターネットによる選挙運動(ホームページ、電子メール、SNS)	7.7	⑦ 8.9	⑦ 5.0
政党、後援会などの推せん	6.7	⑧ 8.7	⑩ 2.0
知人・友人・親類などからの勧め	5.7	⑩ 5.9	⑥ 5.2
候補者の選挙運動用はがき	5.5	⑨ 6.4	⑨ 3.5
電話による勧誘	2.0	⑪ 2.2	⑪ 1.5
その他	1.2	1.4	0.8
どれにも接しなかった	6.8	3.5	14.5
無回答	16.6	16.4	15.4

○数字は順位

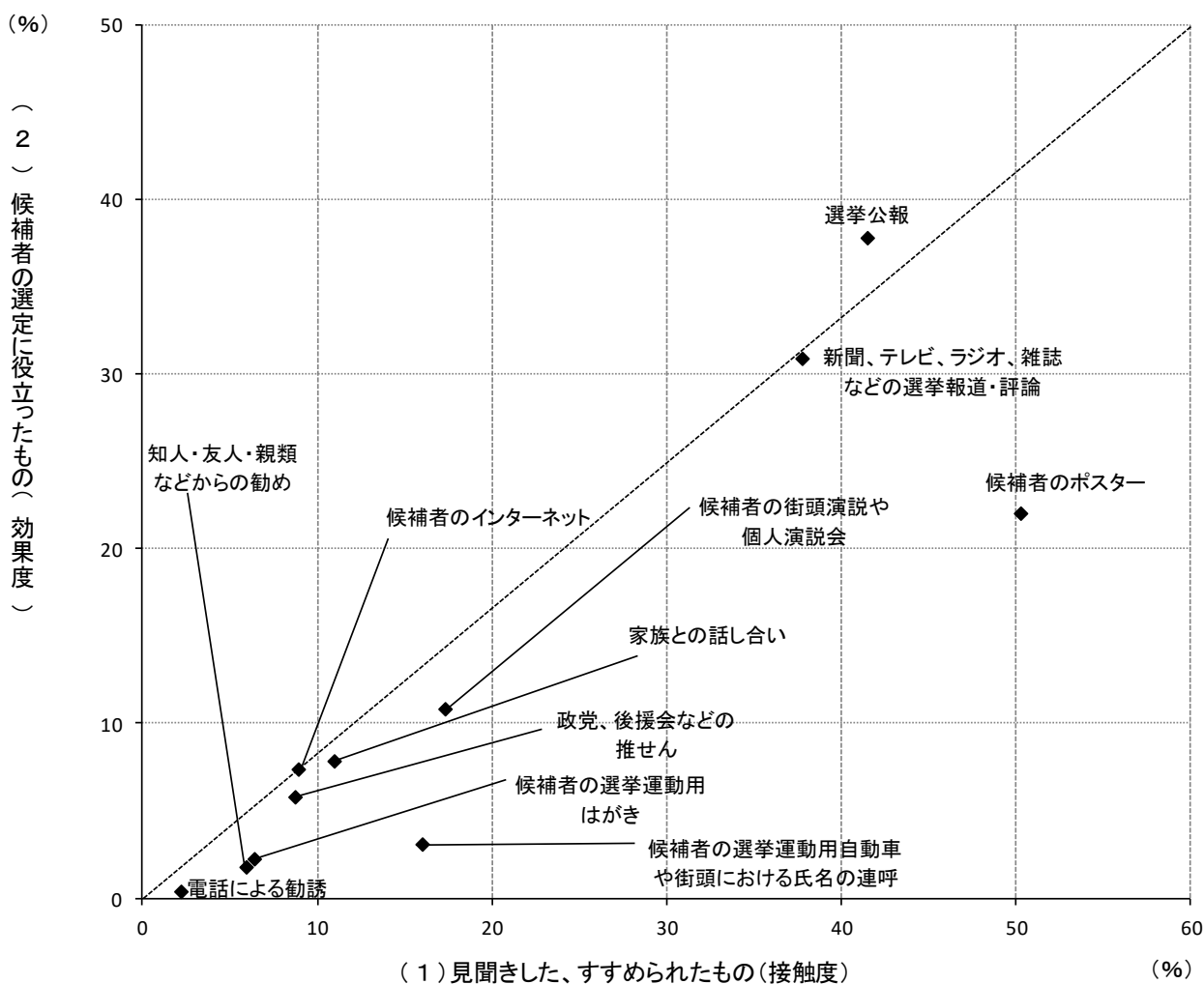
(2) 候補者の選定に役立った選挙運動等

今回の市長選挙で投票した方(1,728人)に、候補者の選定に役立った選挙運動等について聞いたところ、「選挙公報」が37.7%で最も多く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」(30.9%)、「候補者のポスター」(22.0%)、「候補者の街頭演説や個人演説会」(10.8%)、「家族との話し合い」(7.8%)などの順となっている。(図表Ⅳ-5-4)

平成27年調査(第16回統一地方選挙後)と比較すると、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」(30.9%)は、前回(18.9%)より12.0ポイント増加、「候補者の街頭演説や個人演説会」(10.8%)は、前回(18.3%)より7.5ポイント減少しているが、平成25年調査(第15回市長選挙後)と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。(図表Ⅳ-5-1)

また、市長選挙に「投票した」と答えた方(1,728人)が見聞きした、すすめられた選挙運動等と、候補者の選定に役立った選挙運動等を相関させた散布図(図表Ⅳ-5-3)を作成した。横軸が接触度、縦軸が効果度となっている。「選挙公報」、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」、「候補者のポスター」の各項目は、接触度・効果度ともに高くなっている。「候補者の選挙運動用自動車や街頭における氏名の連呼」は、接触度はやや高くなっているが、接触度に対する効果度は低くなっている。また、「電話による勧誘」は、接触度・効果度ともに低い項目となっている。(図表Ⅳ-5-3)

図表Ⅳ-5-3 見聞きした、すすめられたものと候補者の選定に役に立ったもの
(接触度と効果度)



(3) 選挙運動等の有効率

市長選挙に「投票した」と答えた方(1,728人)が見聞きした、すすめられたもののうち、候補者の選定に役立ったと回答した割合を「有効率」として表した。有効率は、「選挙公報」が90.9%で最も多く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論」と「候補者のインターネット(ホームページ、電子メール、SNS)による選挙運動」が同率で81.8%、「家族との話し合い」(70.5%)などの順となっている。一方、有効率の低いものは、「電話による勧誘」(15.8%)、「候補者の選挙運動用自動車や街頭における氏名の連呼」(18.8%)などとなっている。(図表IV-5-4)

図表IV-5-4 選挙運動の有効率

(%)

選挙運動等の有効性 選 択 肢	投票した (n=1,728)		
	(1) 見聞きした・す すすめられたもの	(2) 候補者の選定に 役立ったもの	有効率 (2) / (1)
候補者のポスター	50.3	③ 22.0	⑦ 43.7
選挙公報	41.5	① 37.7	① 90.9
新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などの選挙報道・評論	37.8	② 30.9	② 81.8
候補者の街頭演説や個人演説会	17.3	④ 10.8	⑥ 62.5
候補者の選挙運動用自動車や街頭における氏名の連呼	16.0	⑧ 3.0	⑩ 18.8
家族との話しあい	11.0	⑤ 7.8	④ 70.5
候補者のインターネットによる選挙運動(ホームページ、電子メール、SNS)	8.9	⑥ 7.3	② 81.8
政党、後援会などの推せん	8.7	⑦ 5.7	⑤ 65.6
候補者の選挙運動用はがき	6.4	⑨ 2.2	⑧ 34.5
知人・友人・親類などからの勧め	5.9	⑩ 1.7	⑨ 29.4
電話による勧誘	2.2	⑪ 0.3	⑪ 15.8
その他	1.4	1.1	
(1) どれにも接しなかった / (2) 役に立ったものはなかった	3.5	8.4	
無回答	16.4	14.0	

○数字は順位